愛國婦人

創刊明治卅五年三月廿七日●明治卅五年三月廿七日第三種郵便物認可●毎月二回（一日十五日）發行●電話番町千七百四十六番●同五百廿番●郵送無料●振替貯金口座東京壹壹六八一番

●定價一部三錢五厘●半年分金四十二錢●一年分金八十四錢●廣告料一行金六十錢●發行所東京麹町區牛ヶ淵公園内愛國婦人會●發行兼印刷人山澤俊夫●編輯人竹内貞三

明治四十四年八月十五日發行　AUGUST 15,1911.

婦人思想の變遷

海老名彈正

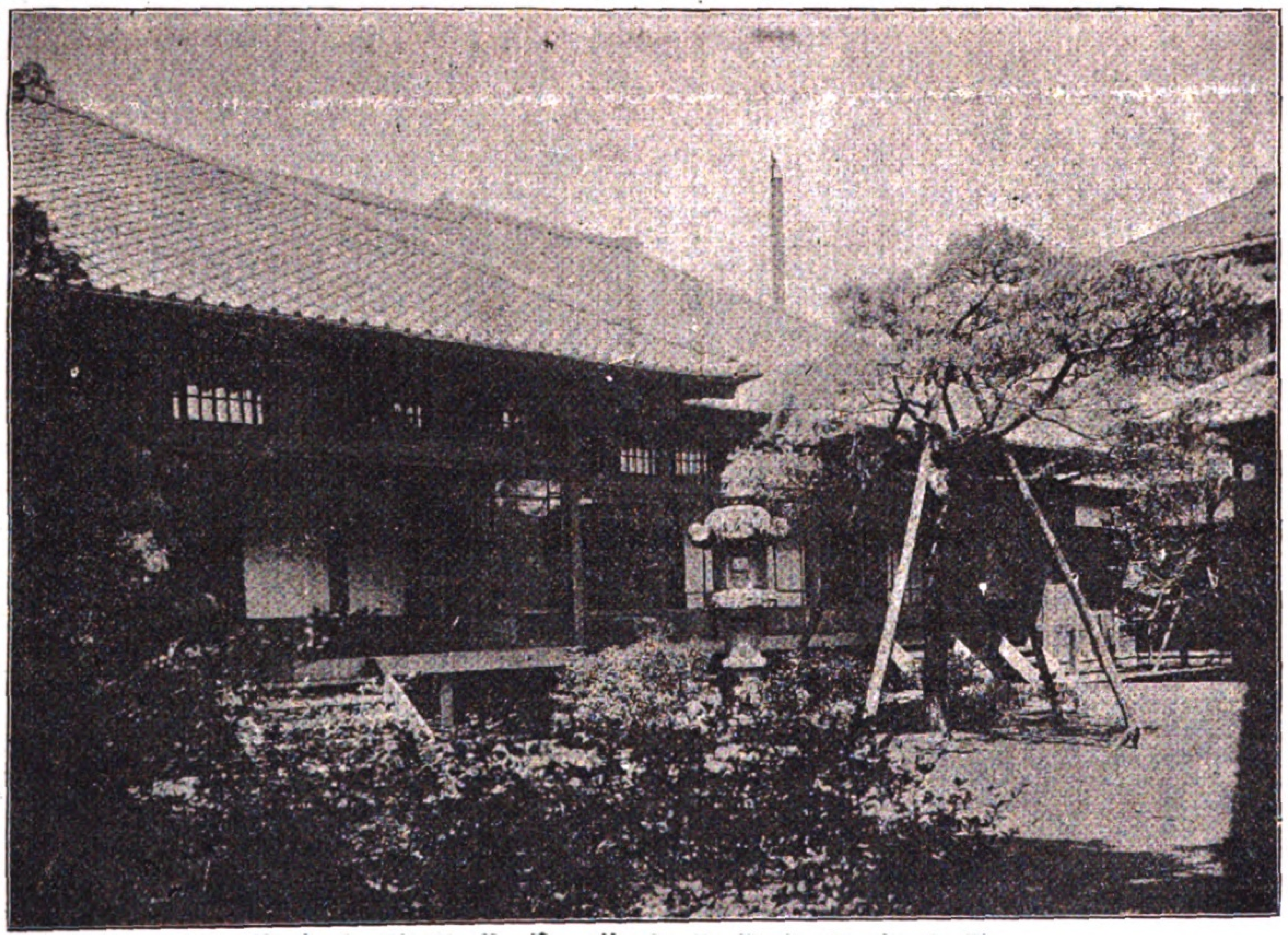
世が移り變り行くに連れて、種々のものが變遷して來ましたが、中にも婦人の状態は却々に變つて來たものであります。髪の結ひ振り、着物の着こなし、帶のしめかた、其の外服裝萬端は勿論、其の體格容貌迄も變つて來ました。併し是は形而上の變化でありますが、更らに極めて注意を要する重大な問題は、婦人の精神状態に變化を來したことであります。

近頃の婦人は、一體どんな思想を有つて居るのであらうか、是は老人には一寸不明事が多いので、隨つて女德といふやうな事に就ても、現時の婦人と老婦人とでは、嘸思想が違つて居るでありませう。そこには思想上の衝突もあるであらうし、又互に誤解して居る點も尠くないであらうと思はれますが、抑も女德に就ての思想を立てゝゆくのには、何も強ちに日本の女德といふものが斯うと定まつて居るものではありますまいが、從來から傳はつて來て居る處にも大に參照すべき事があるので、昔からの意見なり見解なりは大に尊重して思想の中に入れねばなりませぬ。然るに茲に昔と今と大變に違つて來た思想の根本となるものがあります、それは男も女も同じく人であると云ふことであります。

昔は男は男女は女と夫れ〴〵違つたものに考へて居ました。甚だしきに至つては女と云ふものを人の中に入れて居ないのではあるまいか、と思はれるやうな事さへもあります。之は由々しき大問題でありますが、一體に昔の人は親、子、君、臣、夫、妻と夫れ〴〵に區別をし、階級を立てゝ居り、人を人として見て居なかつた、即ち共通の人といふ觀念が乏しかつたのであります。之は儒、佛の教へを通じてこんな傾向を有つて居たので、儒教が女を人の中に入れて居なかつたと云ふことは、孔子の教に『己れの欲せざる處人に施す勿れ』とあつたにも拘はらず、當時の支那の家庭を仔細に觀察まするとヽ夫は妻に對して毫も此教を守つて居らず、而も其が聊も不思議がられて居なかつた、當然の事のやうに思はれて居たのであります。又支那の文章には、女は嫉み深いものだと書いてあるところが女よりも男の方が餘程嫉み深い。女は其の弱き境遇上止むを得ず嫉妬の心をも起して來ますが、男は自分自身の不德からして、妻から離縁を要求せられねばならぬ程の事がどれ位あるか分らぬ位であります。これが現代になつて大に變つて來まして、女子にも亦一つの主張が起つて來ました

曾つて大審院長をして居た三好退藏氏といへば、儒教もきはめ、武士道をも重んじ、國士としても立派な人物でありましたが、此人の詞に『以前は自分の妻を見るに、唯妻としてより外に考へがなかつたが、今は人として考へねばならなくなつた』といはれた事があります。此の人と云ふ觀念が女德を定めてゆく根柢とならねばなりませぬ。女は決して人間以下の者ではないのであります。

之に就て私に失敗談があります。それは私が未だ學生の時代、熊本の英學校に學んだ頃の事、私共の學校に女子が二人一緒に勉強して居たのです。私共男生徒の仲間には、之は實にけしからぬ事だ、女子が我々と机を並べて學問するなどいふ事はない、と定議之に一決し、私は總代となつて之を校長に遇つて止めさせようと爲ました。校長は外國人でしたが微笑を含んで私に問ひました。君を生み落して、君のよごれた身體を清潔にし、親切に育てゝくれた人は男であつたか女であつたか、と斯ういふのです。どうも男とは云へない。いくら女で無いと云ひたくても、夫れは出來ぬ。詮方なしに『其は女です、母です』と答へました。すると笑ひながら、それなら君は女を輕蔑してはいけないではないかと云はれて一言もなかつた事がありました。之から私の婦人觀が大變に變つて來ました、兎も角も此の女も人だといふ思想は、實に現代の新婦人觀でありまして凡ての婦德問題は之を根柢として解決せられねばならぬと信ずるのであります。



閑院宮御新築日本館　總裁殿下御座所

合歡花（常磐會選者詠草）

梢ふく川風いたみひるながら葉のうらみえてねぶの花ちる　井上通泰

しづがやのせとの沼水あわだちてあつき日ざかりねぶの花さく　鎌田正夫

夕されば忽ちねぶるねぶの木はしらでやあかすかゝる月夜を　大口鯛二

ひるがほの塵にまみるゝなはて道ねぶの花こそ淸くさきけれ　須川信行

本號主要目次

▲婦人思想の變遷……海老名彈正
▲婦人の價値(一)……向井柳太郎
▲餘情(下)……前田博士
▲無冠の女王……三卷芳嶺
▲夏の衞生……遠藤博士
▲白羽二重の洗濯……高山繁
▲最近の御製……高崎御歌所長
▲講談宇都宮孝子傳(一)(二)……大島光利
▲其他家政育兒實驗談、懸募和歌俳句等
▲外に愛國婦人會々報二頁

●本紙（附錄共）十二ページ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人の價値 (二)

早稻田大學講師 永井柳太郎

▲婦人は家庭の女王たるべし▲秀吉の子と劉備の子▲ナポレオント國性爺▲偉大なる人物と其母の感化

私は今日文明國と云はれ、婦人の地位が比較的高いと云はれて居る歐羅巴地方に於て、婦人が何う云ふ仕事を爲て居るか、婦人が其地方の文明に何れだけの貢獻を爲て居るかと云ふことをお話致して婦人の價値と云ふことに就ての御參考に供したいと思ひます。

古き歐羅巴の詞に「男子は出でゝ社會に王たるべし、婦人は入て家庭の女王たるべし」と云ふことがあります。此の詞は、今日我國などに於ても種々非難ある詞ではありますが、歐洲に於ては、今日猶此の詞が大體に於て矢張り非常なる勢力を有つて居るのであります。

凡そ婦人が一番仕事を爲すことの出來る廣い領分は家庭であります。殊に家庭の内に於ても、母としての婦人の仕事ほど人類の文明に偉大なる關係を有つて居るものはないと思ひます。昔ガーフキルドと云ふ亞米利加の大統領が「若し誰かが地球と云ふものと、母と云ふものとを天秤に掛けて見たならば、恐らく地球と母とは水平を保つであらう、地球が重いか母が重いかと云ふことを判斷することは出來ない、若し此世の中から母といふものを取除けたらば、世界と云ふものゝ意味はなくなつて了ふであらう。」と云つたさうである。此の詞は固より極端に過ぎて、男子と云ふものを除外て居ります。

私はガーフキルドの此の意見の總てに對して贊成は出來ませんが、兎に角、婦人が世界人類の文明に離るべからざる關係を有つて居ることは、拒むべからざる事實であることを信ずるのであります。

何れの國の歷史に見ましても、英雄の兒は必らずしも英雄ではありません。けれども賢母の兒は必ず英雄であります。是は東西何れの國に於ても例外の無いことであらうと思ふ。例ば、豐臣秀吉は獨り我國のみならず、世界に於ても類の尠い豪傑であります。けれども、秀吉の兒の秀頼は秀吉にも似ない暗愚な君主で、德川氏の勢力に對抗して、豐臣家の滅亡するのを見に支へることが出來なかつたのであります。又支那にも劉備といふ豪傑が居つた。此人は一貫布衣の間から身を起して、其の時分隣りの國にも孫堅と云ふ豪傑があり、曹操と云ふ豪傑があつて、絕えず劉備を壓迫しやうと謀つて居たけれども、克く其の二人の英雄の間に立つて、自己の領分を造り、遂に蜀の國を興して自ら帝王となつたといふ程の偉人であります。然るに其の兒の劉禪と云ふのは、世にも稀なる馬鹿者で、かの諸葛孔明の如き偉大なる大將の謀を用ゐず、遂に孔明をして戰場の露と消えしむるに至つたのであります。斯樣な例を一一引いて來たならば限りなくあると思ひますが、之に反して、賢母の兒は必らず孰れも偉人となつて居ります。

御承知の如く、ナポレオンは世界に於ける偉大なる英雄であります。今日歐羅巴に行つて、世界の英雄は誰であるかと問へば、先づアレキサンダー大王、シーザー、ナポレオン、此の三人の名を擧げるのが普通であります。併し私は、此の三人の中でナポレオンが一番偉人であつたと思ふ。何となれば、アレキサンダー大王は希臘の帝王の兒である。故に自分の父の所持して居た權力を利用して、自由に領土を廣むることが出來ました。又シーザーは勿論豪傑には相違ありませんが、彼は貴族の息子でありましたから、自己の地位を利用して、羅馬人の間に勢力を占むることは左程困難ではなかつた。然るにナポレオンは何うであるかと云ふと、コルシカと云ふ孤島に住む降服者の兒でありまして、佛蘭西人全體からは、恰度吾々が朝鮮人を見る如くに、敗北した國民と見做されて居たのであります。それは何故かと云ふに、ナポレオンの生地コルシカ島は、元と佛蘭西領ではなかつたのであるが、佛蘭西に攻められて、ナポレオンの父の如き暫く佛國と戰つたのであるが、遂に敗北して降參し、それが爲めにナポレオンの一家の者は、佛蘭西に屬する事になつたのであります。故に、家筋から云へば、ナポレオンは確に降服者の家の兒であつたのである。其の降服者の家から起つて、佛蘭西全國を降服させたのみならず、歐羅巴全土に迄其の威力を及ぼすことになつたのは、是れ取も直さずナポレオンは、シーザーよりもアレキサンダー大王よりも、もつと偉大なる人物であると云ふ所以であります。

愛國婦人會大阪支部より銀殿下に獻上したる同支部手藝會製作密針刺繡額面(瀧面瀧)

そこで、此のナポレオンが、何うして斯う云ふ偉大なる人物になつたかと云ふと、是は全く母の力であります。ナポレオン自らも「自分は母の子なり」と云ふことを常に人に語つて居たさうでありますが、ナポレオンの自ら告白する如くに、渠は母に依つて作られたる豪傑である。渠の母はナポレオンの父が敵國に降服したことを甚だ遺憾に思つて、渠の子供の時分から、何時かは立派な勇士となつてコルシカ人の恨を霽せよ、と云ふことを敎へ込みました。其の子供の時代から母に言ひ含められた胸中の鬱血が迸り出て、それで佛蘭西を平定する大人物となつたのであります。

是と寸分も違ひの無いやうな話が我國にもあります。それは國性爺として知られて居る鄭成功と云ふ人物の話で、此鄭成功の父は鄭芝龍と云ひまして明の家來であります、鄭芝龍が日本の長崎へ來て、田川と云ふ人の娘を娶つて、其の間に生れたのが鄭成功、俗に國性爺と云はれて居る人である。ところが、明は亡んで了つたからして、鄭芝龍は是を復興する爲めに仇討を爲やうと云ふ企を爲したけれども、兵糧は盡きる、味方の軍勢は續かないと云ふので、遂に今の清朝に降服したのであります。故に鄭成功も亦父の系統から云へば、ナポレオンと等しく降服者の兒であつた。併し、此の鄭成功の母といふのは、日本人の血液を享けたる田川氏の娘であるから、子供の時から鄭成功に對して、飽くまで明朝の恢復の爲めに盡力せよと云ひ聞かせた。其の子供の時からの母の敎訓が頭腦の中に沁込んで、彼は年長すると共に臺灣に赴いて、土人を征服し、空拳を奮つて竟に死に至るまで今の支那の皇室を相手に、明朝を復活するが爲に力戰したのであります。

斯う云ふやうな例も、數へて來れば幾らも限りない程ある事と思ひますが、畢竟するに、婦人の母としての感化と云ふものは、恐らく、男子が政治上に於て、法律上に於て、又は文學上に於て爲し得るよりも遙かに大なる感化を人心に與ふるものであらうと私は思ふ。故に、曾て或る婦人がナポレオンに向つて、佛蘭西を改革するに一番必要なものは何かと尋ねた時に、ナポレオンは「母の改良に在り」と答へました。實に斯の如く、母を改良することは、國全體を改良する所以の途と云ふことが出來るのであります。

母が修養するといふことは、其國民全體が修養するといふことになるのであります。母が偉大であるといふことは、其國全體が偉大であると云ふことになつて來る。舊約聖書中に、「愚なる子は母の憂なり」と云ふことが書いてありますが、私は、「愚なる母は國の憂なり」と云ひたいのであります。併し母としてだけではない、無論妻としても婦人が偉大なる仕事を爲て居ると云ふことは、是を說明する迄もないことであります。(つゞく)

「大日本婦人教育會に於ける講演」

●愛讀者諸君へ謹告

▲新聞の代金 なるべく前金に願ます 郵便貯金が一番安全確實で、紛失や未着の恐れもなく其の上郵税もいりませんから、御便利でございます。

▲振替で御送金 の御方には當所から振替金拂込受領證を差上ませんから振替金拂込受領證を 御振替で御送金になる時は、拂込口座通知料として後日の御參考に御保存願ます。

▲郵便切手 で御注文又は御送金の節は必らず一割増にして願上ます。

▲愛國婦人發行所 の振替口座番號は每號新聞に掲載してありますが、東京 一一三

▲お手紙の御住所御姓名は明瞭にお認め下さい御轉居の節は、必らず新舊御住所御認め願ます

愛國婦人發行所

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

精神修養 餘情（下）

文學博士 前田慧雲

一體此日本の道德など〻申すものは何から出て來て居るものであるかと申すと御承知の如く日本の天子樣に御忠義を申上げる、親を大事にするといふやうな、所謂忠孝と申すやうなことは、儒敎し佛敎からして立派に成つて參つたものであります。然るに儒敎よりは其本當の根本を申しますると佛敎の方の側が重なものである、表向きに形もて現はれる上は儒敎の側で現はして居りますけれども、それを實行する處の心得はと申すと　即ち佛敎の信仰の上から現はれて來る。德川時代になりまして儒敎が盛んになつて參りましたから、德川時代では大分變はつて居りますけれども、それより以上の時代であつて見ますると、總て皆此佛敎の信仰が根柢になつて居る。皆樣御承知のかく、平安朝時代にも物語の中などには其思想が十分に現はれて居る。どういふ處に現れて居るかといふと、佛敎で申す御恩報謝、天子樣の御恩を尊く思ひ親の御恩を尊く思ふ。之から忠義孝行といふことも出來る譯である。其御恩といふことも佛敎に限つたことではない。儒敎であれ其他の敎であれ始終申すことでありますが、佛敎で說く處の御恩といふものは通常の敎へ說く處の御恩よりは說き方が餘程深くなつて居る。其深くなつた處が日本の忠孝の本當の基を成して居るものである。どう深くあるかといふと、佛敎の上から申すと御承知の如く三世と申すことであります。吾々御互が此處へ生れて來て始めて出來たものではない、以前にも前生があり其前にも前の前生がある。それだに依て之から後ち後生もあり後ちの後生もあるやうな譯である。そこで今日此日本へ生れて來たといふのは偶然に生れて來たのではない。前生からして此處へ生れて來なければならない譯柄が出來て居つたので、即ち此處へ生れて來たのである。早く申すと今の吾々の父母と申すものは自身が生んで貰らうて始めて父母といふ關係が出來たものではない、其親の腹を借りる迄には借りなければならない因緣が結ばれて居る。即ち前生に矢張りお世話になつて居つたのである。其前々生にもお世話になつて居つたのである。世々生々御厄介になつた其因果が重なつて今度は親子といふ關係を有つて此處へ生れて來た譯である。そこで今日の親には自身か生れてから以來の恩ではないのでありますから、縱令今生に於てどのやうな酷い目に遇はされた處か、どのやうに慘い扱ひをされた處が、受けた御恩は今生ばかりではない、前生にも前々生にも受けて居るのであるからどうぞ今生に永い間受けた御恩を報謝したいものであるといふ心を以て見れば、今日虐待を受けた責められたといふて、それで怨むのそれで變な心を起すのといふやうなことはなくなつて來る。どうか今生に於て永らくの間受けた處の御恩を報謝したいものであるといふ心を以て仕へることになつて來る。それで親に對する處の考へといふものが非常に深くなつて來る。今日世間の敎へであつて見ますと、詰る處所謂自身が親の腹に宿つてから始めて親子の關係が出來たといふだけにとゞまる譯である。關係とはいふものゝ實は日の淺い譯である。日が淺ければ自からそれに對して情の淡くなるは當然のことである。是が親であつて見ますと始終自身が側に居るものでありますが、天子樣といふ方の側に向ひますると其因緣の日が淺いといふとどうしても忠義を申上げるといふ心も自然淡くなる。

佛法の處であつて見ると今の天子樣にも前生に於てお世話になり、其前々生にかても前々生の天子樣にお世話になつて來て居る。即ち世々生々今の天皇陛下のお世話になつて此御因緣が重なり重なつて今日は親しく君臣といふ關係を有つて此日本に生れさせて貰ふて、親しく明治の此大御恩澤に浴したものであるといふ時は今の天子樣の御恩を感ずることが非常に深くなつて來るのでありますから、縱令自身にどのやうな都合の惡いことがあつても、自身にどのやうな事情があつても、此天子樣を後ろにして亞米利加へ飛んで行くと、ふことはどうしても出來るものでない。縱令自分の身が碎けやうが天子樣の爲めに盡さなければならぬといふことになるのでありますから、何處迄も御忠義を申上げることになる。楠木正成などが南朝の天子樣に御忠義を申上げたのも即ちそれであります。其根柢を尋ねて人間七生にして此族を亡ぼさんといふ處から見ますると之から先きのものではない之より以前のものにあるも同じく其通り七生の間御恩澤を受けた天子樣であるから自身の一族が消えることは構ふては居られない、どうぞ一つ此天子樣に御恩を報謝しなければならぬ、此世で報謝することが出來なければ更に七度生れ變つて來てゞも御恩を報謝しなければならぬといふ處からあの通りの立派なことが出來たのである。之は楠木に限つたことはございませぬ。あの時代からして一體の人の親孝行をする加減でも忠義をする心得でも其奧底を尋ねて見ますと皆一生の關係といふ譯ではない。前生にお世話になつて居つた世々生々の御恩を報謝しなければならぬといふ心になつて勤つて居るから詰り忠義も孝行も出來るといふ譯である。そこで昔の忠孝の根柢は何處にあるかといふと所謂佛敎の上から出來て居るのである。それが儒敎の形ちを以て現はれて來たといふやうなものである。さういふ時代であるから非常に立派な武士道などゝいふことがあつたのであります。今日はモウさういふ考への人は鑑張りなくなつて仕舞ひまして、天子樣でも自分の親でも自身の身體が出來てから關係が出來たものゝやうに考へるから、どうかすると亞米利加へ飛んで行く、英吉利へ飛んで行く、天下は廣いから何んでもないといふ考へを有つて居る者が今日の若い者に澤山ある。それと同樣に親に對してそんな考へを有つて居る者が今日の世間には澤山ある。唯だ表から忠義をせよ孝行をせよといふた處が頭に其考へがないから、心の底から親を大切にしなければならぬ、皇室に誠を盡さなければならぬといふ考はナカ〱起きて來ない。眞に忠義孝行といふことになるのは即ち誠が基であります。其誠は何から出來かといふと深く御恩を感じて永らくの間お世話になつたことであるといふ、其心の底に御恩澤の難有いことを感ずる處から、モウ自身のことは構はぬ、あのお方のことならばといふことになつて來るのである。世間の上でも能く考へて見ますると關係の永い程情誼といふものは厚くなる。今日もまだ忠僕であるとか義僕であるといふものが時々新聞の上に現れて來ます。私の子供の中には六十年も七十年も一軒の家に勤めて居るといふ者が澤山あつた。其位の者になると自分といふ考へはない。私の家にも六十年から勤めて居つた下女がある。それは家の者もどのやうな都合があつても追出すといふやうな考へは毛頭も起さない。それが横着を爲てしやうがないと思ふてもあれを追出して仕舞はうといふ考へは迚も起らない。又其下女に於きましても自分の身の上にどんな都合の惡いことがあつても、どのやうな差支があつても暇を取つて出て仕舞はうといふ考へは無論ない。さういふ譯になつて居るから、萬一主人の家が亡びたといふやうな場合になると自分の給金で主人の息子を養つて行く、主人の家の子供を敎育するといふことにもなつて來る。それは隨分新聞の上にも例がある。どうしてさういふことになるかといふと關係が段々深くなつて來ると切るに切られぬことになる。それは理窟の上でもなければ道理の上でも法律の上でも何んでもない。自分の心にどうしてもそれを忘れることが出來ないことになる。そこで自身の生命も財產も擲つて主家の爲めに盡さうといふことになつて來る。所謂月が久しくないと情誼といふものが深くなることは不可能である。自分は一生ばかりではない世々生々之まで永らくの間色々お世話になつて來たものであるが、其因緣が結んで今日は君臣の關係を有つて居る。親子の關係を有つてお世話になるものであるといふ考へを以て向ふことになれば、君に對しても親に對しても十分に盡さなければならないといふ考へも起つて來る次第でありますそれて此道德と申すものも通例一般のものゝ上から申しますると、信仰といふものゝ上から出て來ぬことには本當の結果が出來惡いものであらう、唯だ道德といふものゝ上のみならず、單に他人と話をする上に於きましても、自身がする仕事の上に於きましても、前申す如く餘情餘誼といふものがあつて、其處にはどうも盡きぬ處に味ひがあるといふことになつて來るのも、宗敎の信仰に於て心に餘地が出來た上でないと行き惡いものであるやうに私は考へるのであります。之は唯だ私の感じたことだけをお話致した迄のことであります。

●朝香宮妃殿下の御著帶式

朝香宮鳩彥王妃允子内親王殿下には御懷姙後滿九ヶ月目に渡らせらるゝを以て去る八日戊の吉辰を卜し高輪御殿に於て芽出度く御著帶式を行はせられたり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無冠の女王

三宅芳樹

昔と今とを問はず、社會は一般に男らしき男子を要求し、且つ之を賞讃する如く、又女らしき婦人を要求し、且つ之を賞讃して居ります。家庭に在つては、其富んで居ると、不如意であるとに拘らず、常に心を安らかに持ち、子女の教育に忠實であり、又良人に柔順であつて、内顧の心配なからしめ、社會の一人としては、常に其義務責任を重んじ、少しも名聞や利益を願はずに、各種の事業に勉めて居る婦人は、其名前を天下に擧げる時期は、或は無いかも知れないが、其行爲は實に女らしくあつて、眼で見る事の出來ぬ尊い感化を後の世に遺すものであります。

我か一身を犧牲に供して、子女を指導感化し、之をして光輝ある偉大なる國民に作り上げる事が出來たならば、其母と成れる婦人は、實に無冠の女王であります。徒らに名利に走り、功名に憧れ、虚榮に滿足せんとする婦人は、靜かに我が胸に手を置いて、自分の名前に就て、暫らく默考して御覽なさい。花子といふ美しい名も、露子といふ優しげな名も、松竹、梅などの床しき名も、すべて生きて居る間、僅に五十年或は六十年の短かい時日の間に用ゐられる、便宜上の記號たるに過ぎないものではありませんか。これに反して婦人の感化といふものは、世界人類の生活の源泉となつて、千秋不滅不盡のものであります。

嘗て英の文豪エマーソンは、其親友であつたロングフエーローの柩の側に立つて過去を追懷した時、偶然、其のロングフエローといふ名前を忘れてしまつて、どうしても思出す事が出來ぬ。遂に「予は彼の姓名を忘れた。併し彼は完美なる紳士であつた」と云つたといふ話があります。實に姓名は忘れられる事もありませう、然しロングフエーローといふ人物は、エマソンの心の記憶に、完美なる紳士として、深き印象を留めたのであります。これはたゞエマーソン一人の心の記憶ばかりでなく、すべて人類の記憶からロングフエーローといふ名が、消し去らるる時があつたにしても、彼の時に現れた感情や思想は、不滅のものであつて、永久に其感化を及ぼすのであります。

それでありますから、人は名よりも寧ろ實を採らねばなりませぬ、かのロングフエーローが永遠に美しい感化を遺した樣に女は女らしい女として、男子に求むべからざる尊い品性を保ち、名聲以外に深い印象を殘していたゞきたいのであります。

●夏季衞生

醫學博士　遠山椿吉氏談

例年今頃は赤痢病の流行する時期であるが、今年は昨年に比して一層其の流行が甚だしいやうな徴があるので、各自十分衞生上に注意をする事が肝要である。

▲赤痢に罹らぬ注意　として第一に注意せねばならぬのは、凡て生物を飲食せぬ事である。元來日本人には生物を食する習慣がある爲めに、自然腸胃を壞すが、其處へ行くと支那人は實に感心である。あの不潔極まる支那人が比較的に傳染病に罹らぬのは、全く生物を食せず、凡て煮沸した喰物や飲物を採つて居るからである。之は吾國民の範とするに足るべき美點である。併し一度煮沸した食物は何時まで經過も安全と云ふ事は出來ず、時の經過と共に種々の黴菌が附着して來て生物を飲食するのと同じ事になるのであるから、朝煮た物を其の日の午後に飲食するとか、或は翌日飲食するのは可しくない。けれども、茲に注意せねばならぬのは、

▲子供と生水との關係　であつて、衞生半可通の家庭では、子供等の生水を飲むのを大惡事でもあるかの樣に恐れて、絕對に禁ずる事がある。然るに夏時は大人でも盛んに發汗するので、生理上水を欲する。況して身體の發育が著しき少年は其の活動が烈しいと共に水分を要求する事が非常である。之を補ふ水を全く子供に與へぬのは、全然植木に水をやらぬやうなものである。故に適當に水を飲ませる必要がある。不潔水は不可ぬが東京市の如く水道設備を有する都市に在つては生水を飲んでも決して害にはならぬばかりで無く、淸水を身體に必要なだけ飲むのは、大なる藥である。夫を學校などでは、一度煮沸して御丁寧にも不潔極まる器物に容れ、殊更ら水の味を惡くした上に、黴菌までも附着させて飲ませて居る。實に愚なはなしである。

次には又腸胃を成可く壞さぬやうに心掛けねばならぬが、一體、

▲夏季に於ける人間の消化器は非常に其の作用が衰へて居る。そこで食ひ馴れぬ物を喰つたり、分量を過したり、間食をしたりすると、早速腸胃を病する。或る西洋人が、日本人は飯と汁とで成育するのだから咀嚼の習慣が缺乏て居る、と評したといふことを記憶して居る。成程さうである。何うも日本人は食物を十分に咀嚼ず早飯を喰ふのを誇りとする習慣がある。元來口腔では食物を咀嚼く時既に消化作用が起るのであるから、長く嚙めば嚙む程消化する譯となる。故にどんな滋養に富んだ食物でも、不完全な咀嚼で胃に送れば、不消化物を食つたのと同樣になつて了ふ。又氷なども、暑い暑いと思つて無暗矢鱈にガブ〳〵と飲から胃腸を害するのだ。叮嚀に匙で口中に入れ、溫度の平均を待つて飲み下せば、氷其の物は害にはならぬ。兎も角も夏季に赤痢に罹るのは、飲食物の不注意から主に發生するのであるから、よく〳〵注意せねばならぬのである。

絹布の洗濯法

高山繁

▲白羽二重の洗濯（四）

前號までに述べ來つたところで、白羽二重の洗濯に就て概略手順を終りましたので、次には

（五）霧吹き火熨斗の事に就て御話を致します。先づ日陰干に致して乾かしたる物を取り、適宜に霧を吹き掛けて濕りを與へ、淸淨く乾ける木綿片を捲きて、五分間乃至十分間致して後火熨斗に進みます。或は霧を吹きかける代りに、程良く濕りたる淸潔い白木綿に洗濯物を捲き込み、十分間位致して洗濯物の濕りの加減よろしきを見定めて、火熨斗を致しても宜しいのです。

火熨斗は鋼鐵製の鏝を用ゐ、先づ七厘の上に面を淸く致した鐵板を載せ、其上に鏝を載せて燒き、ステアリン蠟を塗りて能く拭ひ、白木綿の片上で擦り、洗濯物をば蒲團の上に敷きたる白木綿の上に載せ、其の上に鏝を掛けます。

茲に大に注意しなければならぬのは、鏝を十分に燒くことの肝要なる事であります。鏝を十分に燒けば洗濯物の羽二重地を燒き損するやうな事がありはすまいかと恐るゝ方もあるますが、却つて燒けの不十分な爲めに鏝の面が絹地に附着したり等致して、火熨斗の仕上げが良く出來ぬ事が往々あります。それでは鏝の燒きかたはどの位の程度でよろしいかと申すと、攝氏の二百度乃至二百五十度位までが可いのですが、實際に之を試るには燒けたる鏝の面へ水滴を觸れしめて、水がパッとはねるかを見、若し燒きが不足ならば、更らに熱して其の位までに致します。此の位に燒けたる鏝は、一分間位新聞紙の上に置けば、新聞紙はこげて狐色に變ります。私の從來の經驗によりますると、絹布を損する程に鏝を燒き過ぎたる人は少くて、孰れも燒の足らぬ鏝を掛けた爲めに過つ人が多いやうであります。實際このやうに燒けたる鏝を掛けたらば、絹地はこげはせぬかと思ふ程のものを用ゐて却つて結果はよろしいのです

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

最近の御製（下）

高崎正風男謹話

我が天皇陛下の御製は何れも皆見るもの聞くもの思ふがまゝ自然の眞情を詠み出で給ひしものゆゑ歌調自ら高く拜讀するもの悉く感激せざるはなし予が御製を拜見するやうになりしは明治十一年よりの事にて其の數も亦尠からぬが中に是程の御佳作は又とあるまじと限りなく難有く存じたる最近の御製あり

道

いそのかみ
ふることふみは
しきしまの
やまとことはの
栞なりけり

這は古事記が我が國語の栞なるを稱へ給ひしものにて我が帝國の百事は總て國體を中心として行ふべきことを示させ給へるものと拜察し奉らる予は我が全國の各學校にて此の御製を拜讀し其の眞意の存するところを生徒並びに父兄に説き諭されん事を望む又

述懷

千萬の
民の心も
をさまらむ
誠一つを
もて教へなは

との御製あり這は赤子を思ふ至誠を以て天下に臨ませ給ふ陛下の大御心を示し給へるなり又

老人

老の波
かつくにつけて
思ふらむ
浮きつ沈みつ
わたり來し世を

と云へる御製は年長者を尊ばせ給ふ思召より出でしものにて世波の間に浮沈したる老人の生涯に御同情あらせられし事を窺ひ奉るべきなり

以上の御製を拜すれば悉く物の鏡に寫るが如く大御心のまゝを言ひ出でさせられ少しも文學的藝術的の修飾を加へられたる跡なければ其調高うして情意は盡きせぬ泉の湧き出づるが如くなること宛も後醍醐天皇の御製に

花に寢てよしや芳野のよし水の枕の下にいはしるおと

とあるに同じ此の御製の眞意は叡慮の協はせられざるに御憤慨の餘り詠ませ給ひしものなりと唱ふるものあれど予は之を拜讀する毎に吉野に遊ばれて花の色、水の音に平生の御鬱懷の舒暢せられたる御心情を偲び奉るなり總て和歌は其の衷より出る聲を聞き取らざるべからず天皇の御製即ち自然の眞情より出でたるものなれば人をして感動せしむる節あり今上陛下の御製は皆御祖先を敬はせ先帝を尊ばせ給ふ大御心と國家人民の上を案じさせ給ふ聖旨とより成れるものなれば御歌調の高きが中に難有き御聲の潜める所あり世の人須らく拜讀して御製中より玉音の朗々たるを拜聽し奉るべき也（國民）

懸賞和歌『水邊納涼』

宮内省御歌所主事 坂正臣選

第一等（賞品贈呈）岡山縣吉田郡郷村 西村長子
市にすむ人にほこらん岩清水流るゝきしにすゝむ夕を

第二等（賞品贈呈）豐橋市平岡町 都築悦子
瓜ひやす庭の清水に月すみてはしひすゝしく夜半ふけにけり

第二等（賞品贈呈）陸前石卷 吉田とき子
更けぬればさしもつとひし人散りてすゝしさまさる加茂の川風

第三等 大阪 室谷ひさ子
川そひのいさゝむら竹吹く風に夏はいつことたとられにけり

第三等 岡山縣足守 林秀子
立よりてむすふ木蔭の岩清水あつさもちりもうかはさりけり

第三等 埼玉縣秩父郡 佐竹及子
川そひの若葉かくれにこゑするはさとの少女のすゝみなるらむ

佳作

十六夜の月かけ白くたゝよひてはしひ涼しき川そひのやと　京都 白百合子

けふもまたせとの小川の柳かけ衣あらひけりあつさわすれて　新潟 浮渕櫻子

ふしの影うつろふ田子の浦かせは波のそこよりふくかとそ思ふ　北海道 五十嵐やす子

山ゆりも匂ふ野川のやなきかけみつの面わたる風の涼しさ　岩手 渡邊豐嘉子

松かけの宿にはなつも忘られぬ岩もる水の音たえすして　日本橋 根本とう子

ゆあみして端居ながらに池水の風になみたつ見れは涼しも　麻布 濱子

夕月のかけくたけ散るたきつせにそてしめるまて涼みふかしぬ　岩代 小川しん子

飛ぶ螢一つ追ひつゝいつしかに野川のきしに來て涼みけり　大阪 藥田ゆき子

さゝれこす水の上ふく夕風はわきて涼しくおもほゆるかな　横濱 鈴木まつ子

加賀川の風をすゝしみ月をきよみゆくてわすれて涼みつるかな　丹後 寺田とも子

立よれは衣手すゝし岩はしるたきのほとりは早秋にして　京都 鍵波眞久子

雨はれしうしろ河原のやなきかけなつわするゝ所なりけり　山口 末田竹子

川添ひのやどそうれしきなつくれはこゝろのまゝに夕すゝみして　岐阜 野村なか子

瀬の音をきゝて川邊に行て見れは柳のまれく風そ涼しき　岡山 西村清子

水の邊の小笹がかけにたゝすめはふき來る風のさても涼しき　横濱 李花子

白濱に暑さくたきていそ崎に月まつかけのいほの涼しき　千葉 土川倭文子

さらさらと清水なかるゝ石川のみぎは涼しくかじかなくなり　京橋 宇佐見こま子

水鷄なく聲も涼しき眞清水にすむ月みれは夏としもなし　下野 岩根とし子

水の面にもゆるほたるのかけみえて池のみきわの風そすゝしき　日本橋 酒井よし子

たきつせのしふきをうけてたゝすめるたもとにわたる風そつめたき　同 方波見つる子

故郷の夢みぬ夜半はまれにしてねざめすゝしき川そひの宿　長野 塚田忠子

青柳の下の程よき捨石に腰うちかけて水に涼みぬ　大阪 藥田ゆき子

月影はほのかにいでゝまこも生る堀江を渡るかせのすゞしき　横濱 鈴木まつ子

河風にゆらぐ柳の下影に暑さわするゝ夏の夕暮　岡山 須奈美穂子

短夜行く小川のきしの夕すゝみひるのあつさも忘れつるかな　兵庫 長田あき子

夕立はあとなく晴て水の面に涼しきかせの通ふうれしさ　芝 土師利根子

涼しげに庭の小池に石なげてうつる灯かげみだくたきても見つ　大阪 北林琴枝子

谷川の流れは清く夜も晴れてふけ行く庵に風薫るなり　山口 内藤まさ子

くれぬ間はあせ流しつゝ田草とりし日とも思へぬ夕川の風　岡山 墨江幸子

そよそよと河風わたるおはしまにひるの暑さもはらひける哉　岡山 森島古野子

螢の窗も岐阜提灯や簾や夜うつくしき水邊の樓　岩代 長谷川吉野子

くひなゝく山川のせに影きよく月もなかれてみゆる涼しさ　足利 岩根とし子

さらさらと筧の水の音すみて若葉涼しき山の下庵　愛知 山内經子

せきおとす小川の水の音きけは夏もながるゝ心地こそすれ　德島 齋藤康子

いたはりの汗の雫もひるまのみいとゝ涼しき川柳の風　日向 やました

ゆあみして網襷邊に立すめはすゝしく聞こゆよしきりの聲　横濱 鈴木伊都子

砂を焼く熱さをよそに白糸の瀧のしぶきのかゝる涼しさ　盛岡 不來方みき子

夕波に晝のあつさもなかれけんうら風すゝしすみよしの濱　愛知 土方梅の子

夏の日もいつしか入りてしづかなる小川にうつる月の涼しき　岐阜 鈴木まき子

夕くれの川邊涼しき月影に暑とるさへ忘れけるかな　名古屋 二宮喜久子

こかれつる暑さ忘れて川つゝみそゞろあるきに夜をふかしけり　同 脇阪操子

堰へかたき暑さわすれて川の邊を友とかたりて涼むたのしさ　同 近藤かす子

▲愛國文苑▼

◎和歌 坂正臣先生選
織女契久（八月十日締切）萩露如花（八月廿五日締切）

◎和歌 佐佐木信綱先生選
月前秋風（九月十日締切）寄蟲述懷（九月廿五日締切）

◎俳句 內藤鳴雪先生選
殘暑（八月廿日締切）鬼灯（九月五日締切）

▲愛國文苑▼

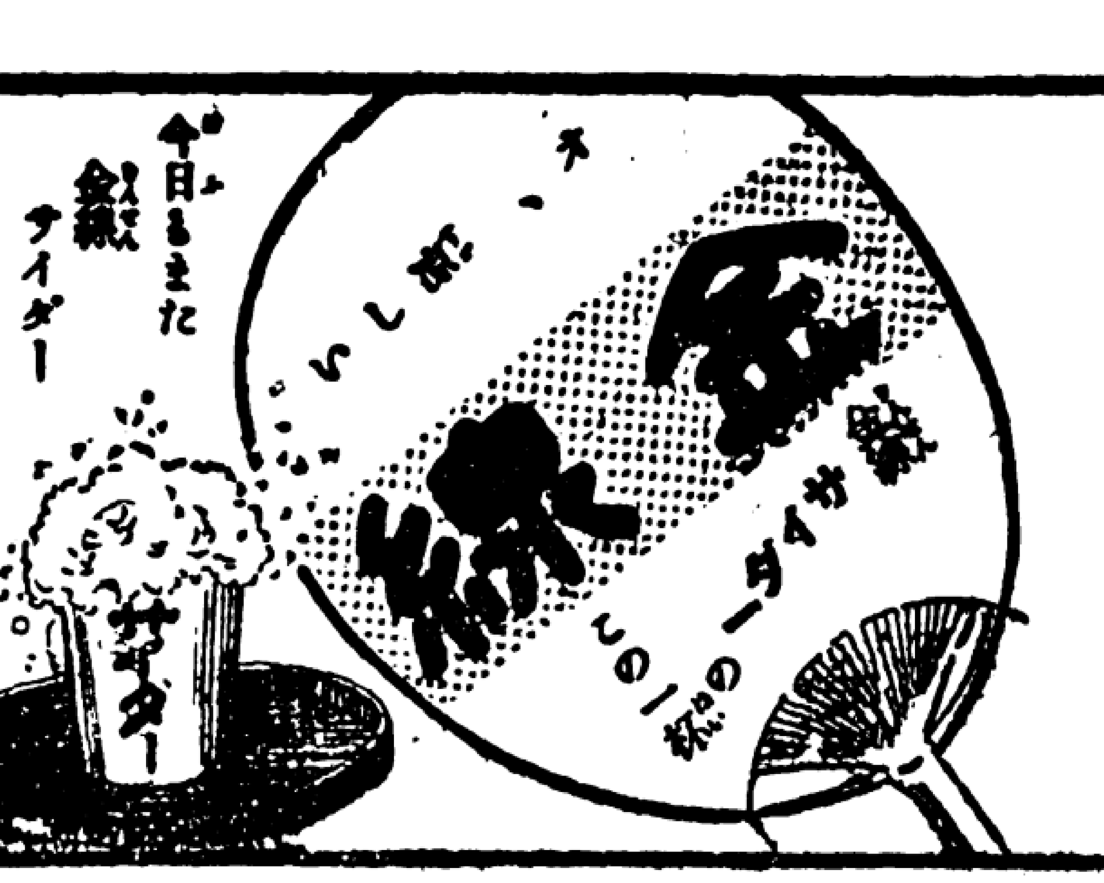
千代田香油

紳士もお孃さんも奥さんも皆千代田香油に限るとの高評盛んなり

定價 特製七十錢 大瓶卅五錢 中瓶廿五錢 小瓶十七錢

東京馬喰町 發賣元 山岸三之助

今日もまた金線サイダーを呑んで愉快に暮らす



ちゝれもくせもけはへもうけあひ 一大奇方

本法は女髪結師安部歌子女史の多年實地研究したる秘法是迄の使用者を悉く滿足せしめたる一大奇法なり照會者は往復はがきにて申込あれ

東京麹町區三番町六七 小林濟世園

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

雲井の御影

▼七月十五日(土) 泰宮內親王殿下東宮妃殿下御訪問 ◉竹田宮殿下御職務を以て埼玉縣下御出張
▼同十六日(日) 東宮妃殿下御病氣後始めて御參內
▼同十七日(月) 東宮殿下上野表慶館御成 ◉閑院宮殿下千葉縣下御成
▼同十八日(火) 皇孫光宮殿下伊香保御用邸に御避暑 ◉伏見若宮殿下鎌倉御成
▼同十九日(水) 四條男薨去に付き祭粢料御下賜
▼同二十日(木) 天皇陛下より去月暴風雨の害を被りたる茨城、山梨、奈良及和歌山縣に對し御救恤金の御下賜あり ◉閑院宮殿下千葉縣下御成 ◉北白川宮殿下江田島より御歸京 ◉朝鮮李太王妃薨去
▼同二十一日(金) 李王世嗣殿下御歸國の途に着かせらる
▼同二十二日(土) 東宮妃殿下日光御用邸御避暑 ◉泰宮殿下箱根御成 ◉伏見宮華頂宮兩殿下鹽原御成
▼同二十三日(日) 閑院宮同妃殿下小田原御別邸御成 ◉梨本宮殿下名古屋より御歸京
▼同二十四日(月) 竹田宮妃殿下若宮御同伴日光御用邸御成 ◉梨本宮同妃姫宮御同伴伊香保御成 ◉閑院宮殿下千葉縣下御成
▼同二十五日(火) 聖上陛下より樺太守備隊風紀衛生視察として侍從武宮長を御差遣はさる
▼同二十六日(水) ……………
▼同二十七日(木) 東宮殿下四ヶ原農園御成 ◉北白川宮妃若宮姫宮御同伴日光輪王寺御成
▼同二十八日(金) 小宮殿下伏見宮邸行啓
▼同二十九日(土) 去月十五日鹿兒島縣下大島震災罹災者の御救恤金下賜あり ◉閑院宮妃殿下小田原より御歸京
▼同三十日(日) 有栖川宮殿下御尋ねの爲め舞子に差遣はされし長崎調度頭歸京復命

(懸賞俳句) 『夏休み』 內藤鳴雪選

天 本郷駒込蓬萊町 中村えい子
○○○○○○○○日盛りを夢殿守や夏休み

地 備前 橫谷郁子
○○○○○○○○朝顔を集めてうれし夏休み

人 岩代 長谷川よしの子
○○○○○○○○父母の唯ニコ〳〵と夏休み

佳作

○飾を訪へば旅行されけり夏休み 岡山 守時千代子
○夏休み何習ふ間もなかりけり
亡き父の机に泣くや夏休み 備前 橫谷郁子
○衣かへて氣も晴れ〳〵と夏休み 飛騨 田中あき子
○夏やすみ歸省の友のたより哉 芝 土師利根子
○夏休み小窓の蝿を數へけり
夏休み都の友のたよりかな 宮城 齋藤すみれ子
○夏休み魚釣る事を覺えけり 岡山 森島古野子
○水郷に客となりけり夏休み 愛知 村松のぶ子
○夏やすみ故山に見たる美少年 豊橋 都築悦子
○朝經や寺の伜し夏休み 備中 仲田町子
○竹緣に朝の日課や夏休み 千葉 綿貫むら子
○妻の里に妻具す夏の休暇哉 兵庫 三畑たか子
○登嶽や行者姿も夏休み 長崎 相部芳子
○夏休み掘の着物たみやけとて 岡山 山內經子

(懸賞) 家政育兒實驗

●自分のことは自分でする　伊豆 澄江子

私の家では、自分のことは自分でなさいと云ふ主義で、子供を躾けてまゐりました。ある日のこと、私はコップを持つて、つい置き忘れました。しばらくして、もと五歳になる娘の雪江にいひつけて、もとのところへおかせますと、雪江がいひますには、『自分のことは自分でなさい』

●御飯が腐りません　德島 滋子

米一升に付き五勺ほど酢を入れて炊きますと夏向きでも二日位は腐りません。

●シヤクリの妙藥　岩手 ふさ子

本年二歳になる私どもの坊は、よくシヤクリをして、遂には乳は吐き出すまで長びいて困りました。ところが、ある日砂糖を少し與へますと、すぐ止まつて了ひました。それから後はシヤクリが起ると、すぐ白砂糖を飲ませますが、不思議によくなほります。

●過ぎにし思ひ出　豊橋 山內經子

私は舊家に生れまして、祖母が非常に緣談を急ぎ、母はせめて十八歳になつてからと申しましたが、十七にこちらへ參りました。實家は無職で、祖母と母と妹と弟とで暮して居ました。こちらは釀酒家で、父は無く、母と兄弟多く、母は病身で私が長男を產みまして間もなく、東京大學醫院で死去されました。此の折の私の悲嘆は何にも譬へやうがありませんでしたが、非常の決心にて、二人の弟、一人の妹と我が兒とを引き受け、犠牲にして、寝た間も忘れず不束ながら出來得る限り力を盡しました。其の甲斐ありましてか、幸に只今はそれ〳〵弟は立派な主人、妹は立派な主婦になつて居り、私は嬉しくて〳〵堪りませぬ。そして荒い波風にもあてずに育てられた私が、どうしてあれだけの難關を切りぬけることが出來たらう、といつも不思議に存じて居ります。

私は東京へも、一度も參つた事がありませぬ。海水浴などはお恥しながら他人の遊びを汽車の內で見て通つたゞけです。實家には祖母も母も居ります故、一年に一度位は逢ひに參りたいと思ひますが、却々出かけられませぬ。自分が出る事が嫌いだからよけいわるいのです。

パーデン婦人協會の事業をお述べになつて被居法學博士井上友一先生は、たしか一昨年でした、宅の家庭果樹園を見においで下さつて、宅へもお立ち寄り下さいましたが、其節四人の子等に與へてありまする自習室を非常にお褒め下さいました。

家政の實驗談 育兒の實驗談を募集致します、

家事經濟の執り方、臺所の注意、下婢の使ひ方、洗濯の爲方、漬物の漬方、品物の保存法、子供の躾け方、子供の衣服の造り方、おしめの取り扱ひ方、添寢の歌や子守の歌、子供に讀ませる書籍の注意、其の他何も家政と育兒に關し、有益と思召す事でも、有害と思召す事でも凡て實際に御經驗の御話が承りたいのであります。文體は如何でも、唯別りさへすれば宜しう御座います、端書でも封書でも差支ありません。續々御投書を祈ります。

愛國婦人發行所

懸賞 暑中の御樂み! 懸賞

〆切期日は本月廿日

懸賞寫眞發展

前々號からの豫告懸賞子供の歲當寫眞は前號(八月一日號)の廣告欄內に發表致しましたが讀者諸姉の厚い御贊成に由りまして日々山のやうに解答葉書が參りまして係員は命懸けに働いて居ります〆切は本月廿日迄でありますから諸君諸姉の御運ためしお眠けさましに期日に遲れぬ樣どし〳〵御投書願ひます。詳細は前號第四頁に記載してあります。

●暑中の御樂み懸賞歲當の催しに贊せられ左記の通り寄贈品を受けました、當選の方々に當所の賞品と共に御分配致します。

一、泰西名家の書翰　價格五拾錢
一、明治傑傳　同五拾錢
一、飛行器物語　同參拾八錢
一、夢二書集　同五拾錢
東京麴町二丁目二番地　洛陽堂
一、橋本赤十字病院長處方 救世丸　十個(一個參拾錢)
一、岩佐男爵處方 壯婦丸　十個(一個三拾錢)
東京深川公園　合資會社 福井堂
一、新婦人九月號二十部(一部貳拾八錢)
東京本郷區龍岡町　聚精堂
一、バラ歯磨 鍍付美麗ナル容器入　二ダース
東京神田區久衞門町　東光堂

▲實用新案算盤式回轉實益洗濯板●●●●●●●● 名の如くに算盤式に出來た最新發明の洗濯板で一寸とした考案だが確に理窟にあつて居る在來の洗濯板に勝る特色は地質が損せぬ事●底があるので石鹼の水が一時に流れ出さず再三布に浸るから石鹼の儉約が出來る事●球の廻る爲めに地質が丸まらず大變樂に洗はるゝ事の三點にある(製造發賣元、四谷北伊賀町三山本商店電番二六九、)

●眞泉病院の內部改良○○○○○○○○ 本鄕根津眞泉病院は從來內科產婦人科を以て市內有數の私立病院なりしが今回更に專門の大家を聘し且つ去月來病院の內部に大修繕を加へ頗る面目を一新したりと。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

講談

宇都宮孝子傳（二）

大島光利口演

主人十兵衛女房のおまつに對ひ　十「ノウおまつ、俺も親の代から旅籠屋をして居るが、二階の六番に滯留してお在なさるお客樣は見た事がねえ、實に親孝行だ實は一昨日の晚更て梯子を降りる音がするから、豈夫に泥棒も入りはしめエ、何だらうとヒヨイと見たら、アノ御武家が御老母を負ふて降りてお出なすつた、夫からノウ、俺が傍へ往つて、旦那樣火の番も居りますし、不寢番も居りますから御手を鳴してお呼びなすつたら宜いのにと恁う申したら、何に／＼此の通り年老た者を他人の手を煩はしては、却て母が氣兼をする、夫故私が脊負て便所へお連れ申す、別に遠慮は致さぬ、年老は氣を痛めるのが一番の毒ぢや、子として親の心を慰めるは是は當然、決して心配するなと恁う被仰つた、何うだ汝に出來るか　女「妾には出來ないヨ　十「出來ねえだらう、人間の出來が違ふから、汝なぞは一山百文の人間だから、二階のお武家樣抔は流石に農工商の上に立つ人だけ實に恐れ入つたものだ　女「そんな事は何うでも宜いけれども、未だお茶代も下がらないヨ　十「成程　女「七日目に頂く御勘定も延々になつて、今日で十六日になるぢやアないか、事によつたら路金が無くつて勘定がつかないんぢやアないかと思ふがな　十「ヘ、、、汝ッちは侍の價値を知らねエからそんな事を云やアがる、楠正成公の悟りにあらア、猛々として虎の如く卑しきといへど諂ふ事なかれ、窮するといへど恐るゝ事なかれ、是が侍の心掛けだ　女「お前さんの云ふ事は六ケ敷つて判らない、ニヤア／＼として猫の如く、十「誰が猫なぞと云つた　女「兎に角拂は皆な帳場へ取に來るのだから、鳥渡二階へ往つてお客樣に催促して見ておくれナ幾らお前がお人よしだと云つても、旅籠賃の催促位は出來るだらう、早く往つて御覽、女房の云ふ事を肯ない亭主が何處の國にある　十「是は恐入つた　女「何も恐れ入る事はないヨ、宇都宮の名物は、女房天下に空風だヨ　十「ヘイ／＼、十兵衛却々苦勞人、無教育の女の言葉抔は氣にもかけない、二階に上つて來て見ると正面に坐蒲團を敷き、夫れへ老母を坐らせ餘程離れて自分は坐す、天下太平の今日とは云へど、人を殺て國を立退たる市兵衞とて、何となく殺伐の氣が眼中に含まれて、處へ十兵衞入つて參りました　市「イヤ其方は何者ぢや、高ぶるつもりではないけれども、自然と言葉が鋭く聞えます、其威權にうたれて思はず頭をすりつけた十兵衛　十「ヘ、、、當家の主人笹屋十兵衛で御座います　市「偖は當家の主人か、苦しうない面を上イ　十「是は恐れ入りました、恰でお白洲へ來たやうなものだ　市「御亭主、此方から參らうと思つた處へ、其方から御出下すつて恰度宜い、實は少し御相談がある、云ひつつ母を顧み　市「イヤ此處は老人が居る、何處か空座敷は無いか　十「ヘ、、、モウお客樣はお立になりまして、大概お座敷は空て居ります、何の御用か存じませんが、此方にお出遊ばして、と案內に從ひ

市兵衛は三室程隔つた十疊の座敷に通つて、正面に坐す、素より宿屋の宿料を倒さうなぞと云ふ心底は微塵もない、只今日は貯へが無いのに止る、明日にも出來れば相當の茶代は勿論宿料も拂ふつもり故、更に諛ふ樣子もない　市「偖御亭主、吾々親子を何と見たナ　十「左樣で御座います、何れ御武家樣で御座いませう　市「イヤ武家にも種々あるけれども、老弱を連れて一年半越しの浪人ぢや、嘗て故鄕を出る時は、此の胴巻にあふれる程路金も所持して居つたが、坐して喰へば山をも盡すと云ふたとへで、氣の毒ながらお前の家へ泊つてから、湯錢も無い始末ぢや鬢の毛ボウボウと亂れ髯ものびたが床屋に參る事も出來ぬ、最も永い間浪人すれば貯へを持ぬが當然だ、お前も永年旅籠屋を致して居れば、大概客の樣子で判るだらうが　十「ヘイ／＼　市「ソコデ御相談ぢや、拂ひたいにも無い袖は振られぬ、あつて拂はぬは橫着、無くて拂はぬは已を得ざる事ぢや、ソコデ有る者が無い者を貢ぐは社會の義務として、敢て不思議はない　十「ヘ、、恐れ入りましたナ　市「と云ふて只貸てくれと云ふ事も云へない、貸たものは權利者で、借た者は義務者だ旅籠屋渡世の其方に待たるべき者が權利を執られては生涯雨龍が上らない依て一時借て置かなければならぬ、幸ひ弓馬體槍劍の道も一と通りは辨へて居る何處か奉公口があつたら其方世話を致せ夫へ奉公して然して拂ひ遣はさう　十「ヘエ、就ては旦那樣今天下太平で御座いまして、何うも御武家樣の奉公口が却々無いのです、此の御地頭の奧平樣は十五萬石でありながら、槍一筋のお侍が本來千五百人が普通、夫が千八百人もあるので五兩二人扶持位ゐのお足輕の株さへ金で買るなら買はうと云ふ世の中、何うも急に御奉公口はありますめえヨ　市「コレコレ其方何を心得違を申す、俺は何時武家奉公をすると云ふた、成程侍の家に生れたには違ひないけれども、母親の腹を出る時に大小を帶ては出ない、裟婆に出てから帶たのぢや、士農工商といへど人間に變りはない、零落て袖に淚のかゝる時人の心の奥ぞしらるゝ、見ず知らずの旅籠屋の其方に毛頭損をかけやうと云ふ氣はないから何でも宜いから奉公に入りたい、いよ／＼當りがなければ湯屋の三介、薪屋の擔夫、蕎麥屋の出前持でも宜い　十「ヘエー　旦那樣はそんな事が出來ますかエ　市「下賤の業の出來ぬと云ふ事はない、學者は不學者の眞似は出來易いもの、不學者は學者の眞似は出來ない良い者が身を落すのは割合に樂ぢや、然しのう、俺も何んな下郞奉公もするとは申しながら、ソコは一ッ考へてもらひたい　十「左樣で御座います、何とか一ッ探ねて見ませう、成る丈け宜しい處へ御世話致します　市「宜しい處へ世話をすると云ふが、お前は此の二階へ上るのに何う云ふ樣に梯子段を上つた　十「トン／＼と上りました　市「一段二段と順を踏で上つたか、夫とも一と跨に上つたか　十「冗談被仰つちやア叶ません、一と跨にすれば股が割てしまひます　市「ソコダ、一と跨にすれば早いけれども夫は出來ない、一段づゝ上るは面倒であるが、別狀なく頂上に昇られる、拙者の奉公するも夫れと同じ事、一段づゝ昇つて參るつもりぢや。

世の多くの婦人は

子宮病の治療を誤て居ないか

一概に子宮病と云ても其種類は隨分多く從つて治療法も種々あるが、一般婦人の自宅治療を見るに甚だ勝手氣儘で服藥は厭だの洗滌は面倒だ、さし藥は困ると病源を考へ藥を適用せず、自己の都合より割出した藥物應用である、爲に內服藥の必用なる病狀に向て外用藥を用ひ、外用藥の必用は內服藥のみを用ゆる矛盾の治療をして、子宮病の不治を嘆く婦人の多きは誠に殘念である津村順天堂の自宅治療法は一藥萬能主義でなく一數種の加減內服藥と數種の外用藥を以て婦人病の根治を保證するのであるが今外用藥中將湯を使用すべき諸症を同病患者に告白す幸に自己の症狀を考慮して本劑を用ゆれば必ず滿足なる結果を得べし尙詳細を知らんと欲すれば詳しき容態を記して本舖津村順天堂へ申込れよ

●中將湯は婦人病一切の內服藥にて中將宮は子宮內膜炎とか白帶、赤帶、こしけ子宮痙攣、子宮加答兒、膣炎、膣加答兒子宮糜爛、子宮惡臭、子宮搔痒、尿意頻促、月經時の疼痛、痳疾性子宮病等の特効あり殊に良夫の痳疾に罹り居る時は痳毒菌の爲に心付かざる內に子宮を害する事多ければ常に中將球を使用して本病を豫防せられよ不姙性と流產、子宮內膜炎の分泌物及び酸性の粘液は精蟲を害し不姙症を起し子宮の炎症は卵の發育を妨げ姙娠するも流產となる事多ければ本劑を使用して病根を斷つ事肝要なり

定價百二十個五圓四十五個二圓二十個一圓九個五十錢三個二十錢本舖は東京日本橋通四丁目（振替口座一六八〇番）津村順天堂です●取次全國各藥店

被害各地 愛國婦人會支部職員並會員 本紙購讀諸姉各位

謹んで大洪水の御見舞申上候

愛國婦人發行所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

醫院案内

●齒科診療 貧困者には施療す
義齒金銀、護謨其他隨意應需低廉にして懇切叮嚀に取扱仕候
日本橋區龜島町一丁目三七(地藏橋より約一丁)
順天堂齒科醫院

小兒科 醫學士 石塚保吉
赤坂區青山南町三丁目
電話芝三四七四番

産科婦人科 小兒科
野中醫院
牛込區納戸町三六
電話番町一〇四〇番

産科婦人科 天本醫院
下谷區仲徒町二丁目卅五番地
院長 醫學士 天本治
(入院隨意) (電話下谷二六六九)

◎産科、婦人科
◎内科。小兒科
森種太郎
小石川西江戸川二六
電話番町(一四二六)

腦神經精神病
帝國腦病院
青山病院
院長 ドクトル 醫學士 齋藤紀一
醫學士 田澤秀四郎
醫學士 望月温泉
電話 特芝二七四五 芝二六六五

婦人科産科 榊病院
醫學博士 榊順次郎 毎日午前診察科
醫學士 久保徳太郎 日曜水曜午後婦人科的外科
醫學士 田代謹二 火木土曜日午泌尿器病及内
●施療火木土午後自一時至二時
●施療姙産婦ヲ取扱フ
麹町區三番町三三(電話番町三〇三三)

…(診察時間)…
○産科、婦人科 入院隨意
月、水、金午前 橋爪病院(浪花二六〇番)(日本橋區龜島町一の廿九)
毎日二時より五時迄 自宅(下谷二四八七) 本郷區眞砂町十五番地
醫學士 橋爪哲造

内田病院
淺草區新福井町二(花町電車停留場際)
病院落成に付隨時入院の需めに應ず
小兒科專門
院長醫學士 内田愼太郎
副院長醫學士 瀧原五郎
(午後診察)
電話(下谷七二八事務用)(下谷四八八病室用)

◉院長ドクトル 木村順吉
京橋卅間堀一丁目角(電話京橋一六七〇)
婦人科産科 木村病院

◎産科婦人科
櫻井克巳
芝明舟町十九虎門外
電話芝二六四二番

腦神經精神病科
加命堂腦病院
東京龜戸町電話浪花二五五二

濱町病院 産科 婦人科
日本橋區濱町三丁目七番地
電話浪花一六〇番
院長醫學士 小林八十七
醫學士 大瀬貴明
醫學得業士 杉原格藏
醫學士 佐野綱次郎

内科橋田病院 (錦町三丁目電車停留場側)
●隔離室設備(診察午前)(入院隨時)
院長 醫學士 橋田茂重
病院 神田錦町三ノ一九(電本二三三九)
自宅 牛込甲良町一一(電番一九六)

内科診察 宅診午前及夜間九時迄 往診午後
麹町區四番町四番地(電話番町貳三八四)
醫學士 中山敏樹

耳鼻咽喉科
神田區美土代町一丁目十六番地
醫學士 榊田義衛
電話本局三一九〇

内科一般 午前宅診 午後往診
東京神田區美土代町三丁目十七番地
板垣亨
電話本局貳千九百七拾番

産科婦人科
小兒科專門
佐伯醫院
四ッ谷左門町五番地
電話番町(二〇一六番)

口腔科 歯科 口腔外科 醫學士 荒木千代之助
澁谷義雄
内科 醫學博士 栗本東明
醫學士 白川彌源太
産科 婦人科 醫學士 櫻林格造
○各科外來診察(入院隨時)
○毎日自午前八時至午後三時
本郷根津 眞泉病院
電話下谷四三九

小兒科醫院
本院 四谷區西信濃町十四番地(電話番町八七四)
院長 醫學士 川村正治
宅診午前中
分院 芝區西久保巴町四十五番地(電話芝二〇八六)
副院長 醫學士 川村信一
宅診自午後二時

水ふうく
スミス石鹸

浮石鹸を撰み玉はゞ
品質純良にして効用特殊に芳香馨しく且つ能く實用に適し經濟的にして又體裁優美價格亦低廉なれば家庭用又進物用に最も適せるものなり
浮石鹸を撰み玉はゞ二個續き美麗なる紙函入
スミス浮石鹸を召せ

凱旋サイダー

内科 小兒内科
神田表神保町十番地ホ號(駿河臺下東明館裏四ッ目横町右へ入)
醫學士 原勇四郎

毛生液

はげ、脱毛、薄毛、生際の悪き人試みよ
本劑は第一毛をはやし、ぬけ毛を止め、髪の毛はへぎは眉毛鬚等の薄きをこく生し皮膚病でき物ヤケド跡はげ其他あるべき所毛なきに用て毛はへる事請合
●藥價卅錢五十錢特製一圓二圓送料六錢
本舗 東京馬喰町三丁目 山崎榮二郎
本店 大阪平野町二丁目
實捌全國一手賣藥店化粧品店に有

苟も美容たらんと欲する諸姉は先づ
ラローラ
BEETHAM'S La-rola
を愛用せざるべからず
此化粧用美容劑は日光、風、硬水に堪る樣皮膚を保ち日焦アセモ、アレ赤顏ソバカス等を防ぐに尤も妙にして且皮膚を柔かく滑かに色白く若々しくす四季を通じて用ゆれば常に美しき皮膚を保ち得らるべし
M. BEETHAM AND SON, CHELTENHAM, ENGLAND.
製造所 英國セルテンハム エム、ヒーサム、エンド、サン商會
各地著名の化粧品店にて賣捌く

◉小兒科 殊に營養障害
淺草下平右衛門町十七
内山小兒科醫院
院長ドクトルメヂチーネ 内山好一
(電下二參六五)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

小兒科醫大家の激賞ある

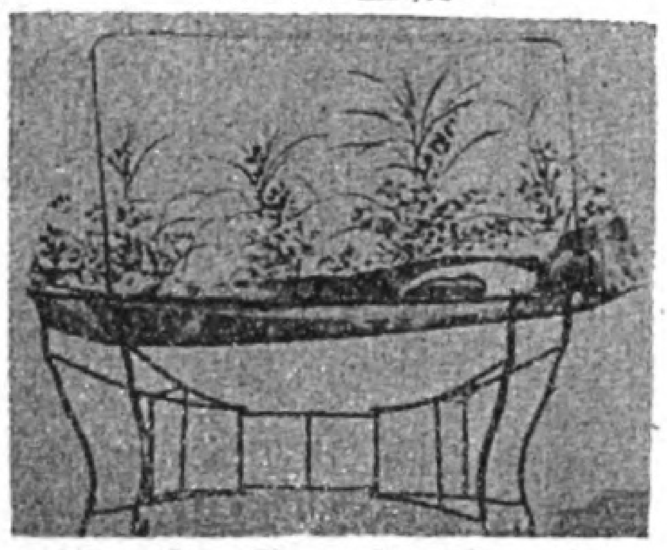
特許出願中

小兒用自由寢臺

本器は構造に特殊の工風を施し堅牢優美にして且つ又組立折疊み共自由簡便にして目方も輕く候へば御小兒衆にても持ち運び容易なり

夏季は特に害蟲に侵さるゝ憂ひなく安全にして風通し最もよく冬季は下を圍ひ按火を入れ暖く心地よく安眠を得らるもの實見諸姉の好評を恭ふせり

折り疊みの圖



組立てた所

美術エナメル塗　蚊帳付　鞄形　定價　四圓八十錢

製造發賣元　東京市四谷區西信濃町十一　小島商店

●愛讀者諸君へ謹告●

▲新聞の代金 をお送りになる時に 振替貯金が一番安全確實で、紛失や未着の恐れもなく其の上郵便賃もいりませんから、御便利でございます。

但振替で御送金になる時は、拂込口座宣記料とします。

▲振替で御送金 の御方には當所から殊更らに受領證を差上ませんから振替金拂込受領證を後日の御參考に御保存願ます。

▲郵便切手 で御註文又は御送金の節は必ず一割增にして願上ます。

▲愛國婦人發行所 の振替口座番號は毎號新聞に掲載してありますが、東京一一三八一番でございます。

▲お手紙の御住所御姓名は明瞭にお認め下さい御轉居の節は、必らず新舊御住所御認めを願ます

愛國婦人發行所

家庭の一大寶典

赤堀料理講義録

奥樣お孃樣方は是非御一讀遊ばせ

科目　▲和洋支那料理法▲和洋菓子製造法▲裁縫▲造花▲病者の食物▲食物化學▲家政學▲小兒の食物鑵詰料理及び家政上に於ける名家の講話

夏期講習會生徒募集

▲期 八月一日より同二十日迄

▲講習料 一科目二圓五十錢

▲申込 七月三十日限

東京日本橋區本銀町一ノ一

赤堀料理教場

振替口座東京一三〇〇三番

愛國婦人會員に限り　半ケ年　金一圓半　一ケ年　金三圓

御扇子

愛國婦人會御用達

京都寺町五條下ル東側　御影堂　特阿彌

胃病良藥　太田胃散

定價　十五錢、三十錢、五十錢、壹円

東京市吳服町　太田信義

皮膚 梅どく りん病 わきが 生殖器諸病 ぢ

東京淺草瓦町廿八　朝八時より九時迄

中央醫院

皮膚諸病　梅どく諸病　りん病 消渴　ぢ 田蟲 等症

血の道 子宮病 月やくとまりたる病 子なき婦人

にきび 色の黒き人

そばかす あれ生 生殖器諸病 神經衰弱症

陰萎 早漏 發育不充分症 記憶力減衰

わきが

遺精 夢精

▲病狀を記し郵券四錢を送れば病を速治する專門醫中央醫院長處方の特效新藥說明書を送る

東京淺草瓦町廿八　瓦町電車停留場橫

中央藥院

關東發賣元　東京銀座一丁目　佐々木商店

關西發賣元　大阪市心齋橋北詰　三共商會

資本金八百萬圓

東京京橋區木挽町

株式會社 十五銀行

電話新橋　三〇〇番　一五三〇番　三一九三番

同日本橋區新乘物町

同 日本橋支店

電話浪花　一九〇一番　三二七四番　三五〇五番

一定期預金　六ケ月以上年四分

一當座預金　日歩五厘

一特別當座預金　同　八厘

東京市日本橋區通一丁目

合名會社 森村銀行

電話(特)本局六七三番　電話本局四九八番

定期預金　六ケ月　年四分五厘

當座預金　百圓に付日歩　五厘

特別當座預金　同日歩　九厘

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

夏期最必需品

●東京地張雨傘
●流行日傘花傘
●輸出向絹張日傘
●座敷用澁紙

此敷物を使用せば更に蚤除粉を用ゆる必用なし

品質の精撰　弊店の商品は一々良否を鑑別し製造は最優良の職工に命ず故に品質良好也

價額の低廉　利は元にあり直接に製造元より仕入多額に商品を準備す故に價格低廉なり

○市内は電話又は葉書にて御申越次第無賃配達す

東京市京橋區中橋大鋸町七番地

傘桐油澁紙問屋　伏見屋　（伏）　山木茂助

振替東京一四二九五　電話京橋二六三六

POPPŒA
高等化粧品製造所
PAPIER POUDRE, Ltd.
London, England.

英國倫敦パピーアプーヅル商會製造化粧品は日英大博覽會に於て金牌を受領せり

ポピーア、クリーム、プーヅル。は顏頸腕等に封入使用書通り御用ゐあれば皮膚を艶麗純白にし且つプーヅルは少しも目立たず

當商會は此外ポピーア、ポーヅル、パピーア、マリリンハイジーア。ポピーア、ルーヅ及其他の化粧品類一手製造販賣す

日本一手販賣店　横濱山下町七六番C　ベーリツク兄弟商會

愛國帶
一筋　貳圓拾錢
東京區麴町飯田町
愛國婦人發行所

東洋一　製造大販賣（卸し小賣）
●かや夜具（夏冬）ざぶとん
諸官省御用　（や）
外濠線駿河臺下停留場前　神田表神保町二
矢田本店
電話本局二〇一八番
市内無賃配達
●階上縱覽御隨意　珍柄高等品澤山有り
●綿質保險附●確實大勉强●正札引なし

別染すゐなゆかた
めりんす友染新形
いせざきめいせん
其外暑中御進物品
東京人形町通よし町
赤のれん
おむなや本店
電話四三四五
向ふまへ
おむなやめりんす店

日本赤十字社病院御用達
蒸熱殺菌牛乳販賣所

本店　麴町區永田町二丁目
乳牛場　豐多摩郡千駄ケ谷町

鈴木牛乳店
電話新橋一九九五
振替口座二四二四

一弊店の蒸汽殺菌牛乳は最良の牛乳を壜詰の儘一定の熱度と時間とを計りて殺菌したるものなれば滋養成分の完全なるは勿論消毒後開封せざるを以て黴菌等の浸入する事なく又長時間腐敗の憂なきは壜詰殺菌牛乳の一大特色なり

●橋本　救世丸と胃腸病
赤十字院長　橋本子爵

赤十字院長橋本子爵の救世丸は最上の消化錠劑なり如何に頑固なる慢性胃腸病と雖も必ず全治す、最强の殺菌劑なるが故に肺結核病に最も有效なり、卓絶なる滋養劑なるが故に牛乳其他の滋養劑に勝り病後の衰弱に最も効あり

●岩佐　壯婦丸と婦人病
宮内省侍醫　岩佐男爵

宮内省侍醫岩佐男爵の壯婦丸は從來の陳腐なる漢法藥に非ず最も有効なる貴重藥にて調製し子宮病月經不調氣鬱動氣、逆上、腰痛、産前産後ヒステリー等婦人諸病の良藥なり、又めまい、頭痛、不眠、秘便、神經衰弱等には男女共に偉効あり

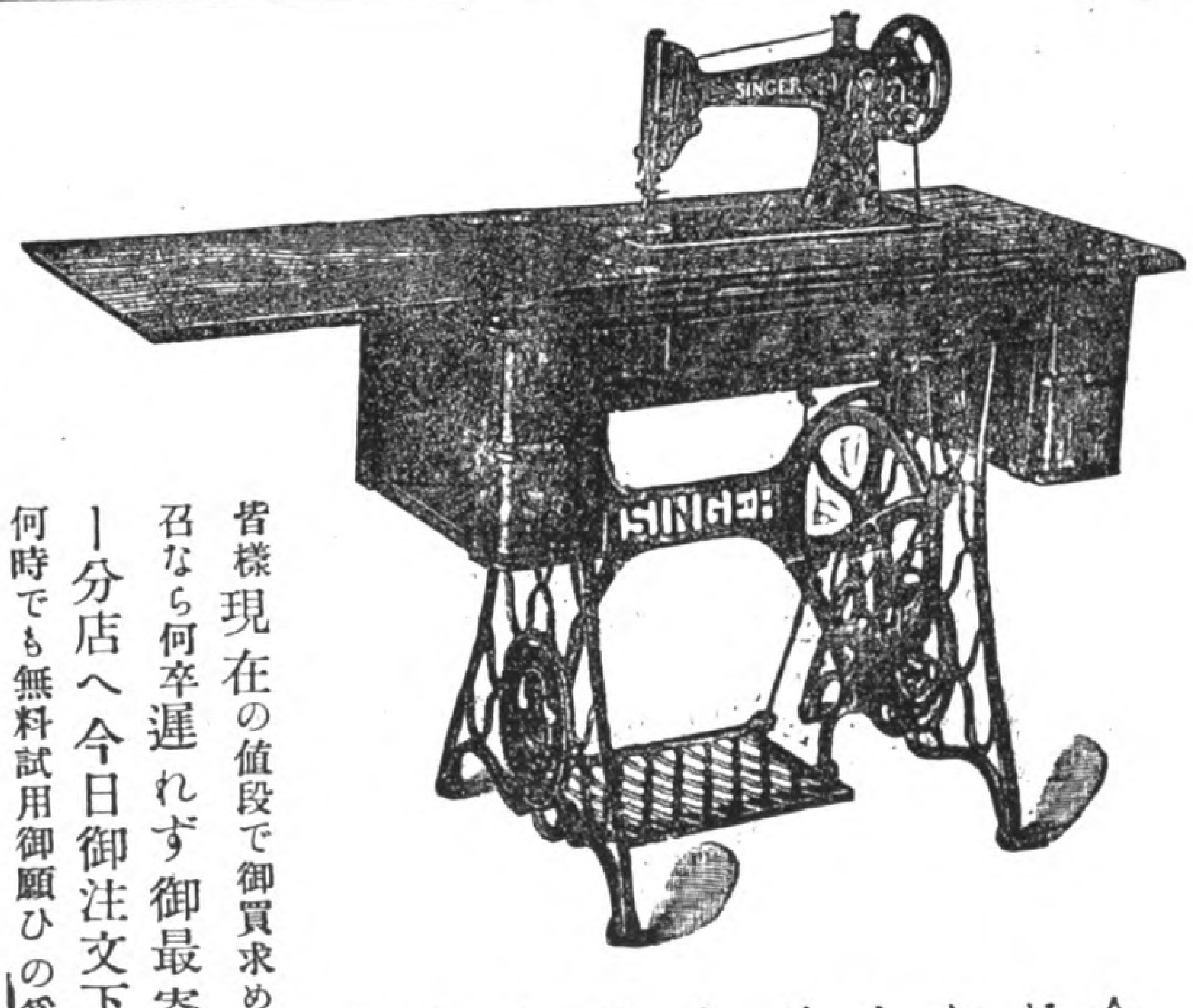
○救世丸壯婦丸は愛國婦人會總裁閑院宮妃殿下を始め奉り各宮殿下の御嘉納あり又た陸軍省兩本願寺等の御用藥として我國有史以來未曾有の名譽を辱ふしたる此の一事を以て尋常一般の賣藥に非ずして最も確實に最も有効なる事を證し得べ

○藥價兩劑共拾錢參拾錢七拾錢壹圓參拾錢壹圓八拾錢○効能書贈呈
○本劑は本舖又は愛國婦人發行所に於て會員諸君には一割引にて御取扱申可候

本舖　東京深川公園　合資會社　福井堂
電話長浪花五六九番　振替東京二三六六番

定價改正の緊急通知

シンガーミシン壹臺あれば御家庭内の裁縫上時と財と勞力との節約が出來ます
日本の着物一枚を手で縫へば十時間かゝるものをシンガーのミシンで縫へば四時間内で出來ます又シャツの如き手で縫へば七時間以内ではとても縫へないものが一時間内で立派に仕上げることが出來ます



今日輸入税率が高まりました爲めシンガーミシン會社は本月末より價格改正を餘儀なくせらるゝことになりました

皆様現在の値段で御買求めにならんと思召なら何卒遲れず御最寄のシンガー分店へ今日御注文下さい弊社は何時でも無料試用御願ひの爲めシンガーミシン壹臺御宅まで御屆け致します手附金等は申受けません

弊社の分店は
東京市京橋區銀座（電話新橋三四六六）　名古屋市西區玉屋町
大阪市南區心齋橋筋（電話南九九六）　廣島市細工町
京都市三條通り柳馬場　福岡市橋口町
横濱市吉田町一丁目　仙臺市名懸町
神戸市長狹町通り　札幌區南一條西五丁目
金澤市下堤町
其他日本國中到る處の市や町にあります

横濱市山下町二十三番地
シンガーミシン會社日本中央店

愛國婦人廣告取扱
神田三河町一ノ一九　博報堂
京橋區宗十郎町一七　正路喜社
愛國婦人海外廣告一手取扱
京橋區南槇町七　大興社
京橋區南紺屋町一　一星社
神戸市元居留地仲町三八　東洋廣告取次會社
神田須田町廿七　金蘭社
京橋區　廣告社

明治四十四年八月十五日發行（毎月二回一日、十五日）
（定價金三錢五厘　一ヶ月金七錢　郵税不要）（廣告料一行金六拾錢）
編輯人　竹内貞三
發行兼印刷人　山澤俊夫
發行所　東京麴町區飯田町　愛國婦人發行所
印刷所　東京市小石川區久堅町　博文館印刷所
●電話番町千七百四十五番　●同五百二十番　●振替貯金口座東京壹壹三八一番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

附錄 愛國婦人會會報

本部記事

●有功章贈與

朝鮮本部李埈鎔夫人 金氏
同 侯爵伊澤榮夫人 兪氏
同 伯爵李完用夫人 趙氏
同 子爵閔丙奭夫人 沈氏
同 子爵尹徳榮夫人 金氏
同 子爵趙重應母 朴齊淑
同 中村再造
同 森勝次

金五十圓寄附に依り三等有功章贈與(五月廿七日)

愛國婦人會々員女子人口比較表

明治四十四年六月末日調

府縣	特別會員 終身	特別會員 年賦	特別會員 計	通常會員 終身	通常會員 年賦	通常會員 計	合計	四十年末女子人口	百分比例	七圓以上出金賛助員數
臺灣	一、一一三	一、一九五	二、三〇八	二、〇七三	四〇、八六三	五二、九三六	五五、二四四	一、四六〇、一八七	三、七八	[illegible]
北海道	四三三	二、四三〇	二、八六三	八三四	一三、三二六	一四、一六〇	一七、〇二三	五七九、八〇〇	二、九四	[illegible]
東京	二、四一五	五、四八四	七、八九九	一、七六八	一五、四三二	一七、二〇〇	二五、〇九九	一、一三六、四三〇	二、二一	[illegible]
京都	五五九	一、九四〇	二、四九九	七七四	一七、七六七	一八、五四一	二一、〇四〇	五二四、五〇〇	四、〇一	[illegible]
大阪	六九五	二、六二〇	三、三一五	九一一	一五、二三四	一六、一四五	一九、四六〇	八七二、三四四	二、二三	[illegible]
神奈川	四五三	一、一九二	一、六四五	九二一	一六、四六四	一七、三八五	一九、〇三〇	五一一、二〇〇	三、七二	[illegible]
兵庫	六五三	一、四四八	二、一〇一	二、一四九	二九、九九八	三二、一四七	三四、二四八	[illegible]	[illegible]	[illegible]
長崎	一、二六七	二、二八五	三、五五二	一、一五八	一一、一五六	一二、三一四	一五、八六六	五〇六、〇〇〇	[illegible]	[illegible]
新潟	三七〇	七九八	一、一六八	九六六	一二、五〇二	一三、四六八	一四、六三六	八八九、九〇〇	[illegible]	[illegible]
埼玉	一三八	二一四	三五二	七六〇	八、六七五	九、四三五	九、七八七	六三〇、六〇〇	[illegible]	[illegible]
群馬	一九八	一、三三一	一、五二九	二五〇	一二、八八四	一三、一三四	一四、六六三	四六〇、六〇〇	[illegible]	[illegible]
千葉	一八五	七八六	九七一	五七二	一一、九二六	一二、四九八	一三、四六九	六五六、八〇〇	[illegible]	[illegible]
茨城	七三	四七七	五五〇	二七七	一〇、六〇六	一〇、八八三	一一、四三三	六〇六、三〇〇	[illegible]	[illegible]
栃木	二一六	七三九	九五五	五〇一	一一、八一一	一二、三一二	一三、二六七	四六二、八〇〇	[illegible]	[illegible]
奈良	七四	二二一	二九五	五二二	五、三七三	五、八九五	六、一九〇	二七八、四〇〇	[illegible]	[illegible]
三重	一三二	三〇八	四四〇	八二一	一二、五五一	一三、三七二	一三、八一二	五三三、二〇〇	[illegible]	[illegible]
愛知	五六九	一、〇〇一	一、五七〇	二、七九七	三二、三二六	三五、一二三	三六、六九三	八六八、二〇〇	[illegible]	[illegible]
靜岡	三四〇	六一七	九五七	一、一二二	一八、五二四	一九、六四六	二〇、六〇三	六五九、二〇〇	[illegible]	[illegible]
山梨	九三	二九三	三八六	二九一	三、〇一〇	三、三〇一	三、六八七	二七七、〇〇〇	[illegible]	[illegible]
滋賀	一二八	三一二	四四〇	五五三	五、三七五	五、九二八	六、三六八	三五八、七〇〇	[illegible]	[illegible]
岐阜	一四九	七一二	八六一	四三〇	七、六六五	八、〇九五	八、九五六	五〇五、〇〇〇	[illegible]	[illegible]
長野	●二四〇	一、一七九	一、四一九	一、〇〇五	一六、二八〇	一七、二八五	一八、七〇四	六八八、二〇〇	[illegible]	[illegible]
宮城	●二九二	一、二八〇	一、五七二	四四三	一二、一二三	一二、五六六	一四、一三八	[illegible]	[illegible]	[illegible]
福島	四二二	一、〇四三	一、四六五	一、四四五	一一、〇三八	一二、四八三	一三、九四八	五八六、九〇〇	[illegible]	[illegible]
岩手	一五二	五二三	六七五	四一二	八、二三七	八、六四九	九、三二四	三七一、九〇〇	[illegible]	[illegible]
青森	三一二	一、〇七五	一、三八七	八〇一	九、三三八	一〇、一三九	一一、五二六	三三一、九〇〇	三、四七	[illegible]
山形	●三四八	五七〇	九一八	一、二二三	一九、六四六	二〇、八六九	二一、七八七	四五二、二〇〇	四、八二	[illegible]
秋田	三九一	五九二	九八三	一、五四〇	一一、〇六八	一二、六〇八	一三、五九一	四二〇、二〇〇	[illegible]	[illegible]
福井	一七五	六九八	八七三	五七四	七、八九九	八、四七三	九、三四六	[illegible]	[illegible]	[illegible]
石川	六九六	一、三五〇	二、〇四六	一、〇二八	一八、二〇八	一九、二三六	二一、二八二	三七八、九〇〇	[illegible]	[illegible]
富山	●一八一	九四九	一、一三〇	六六二	一三、九一八	一四、五八〇	一五、七一〇	三八一、〇〇〇	[illegible]	[illegible]
鳥取	六九	二二六	二九五	一七六	五、五六二	五、七三八	六、〇三三	二一八、八〇〇	[illegible]	[illegible]
島根	一一一	三三〇	四四一	三六一	一三、二一四	一三、五七五	一四、〇一六	三六三、〇〇〇	[illegible]	[illegible]
岡山	二八三	八二四	一、一〇七	一、二八二	二一、六五九	二二、九四一	二四、〇四八	五七五、五〇〇	[illegible]	[illegible]
廣島	六三一	一、九三〇	二、五六一	一、八四三	三〇、五〇三	三二、三四六	三四、九〇七	七五一、八〇〇	[illegible]	[illegible]
山口	三二〇	八六九	一、一八九	一、四八一	二六、六七三	二八、一五四	二九、三四三	五〇九、〇〇〇	[illegible]	[illegible]
和歌山	六七	二六九	三三六	二五〇	四、〇七六	四、三二六	四、六六二	[illegible]	[illegible]	[illegible]
徳島	九三	二八〇	三七三	五九九	七、一〇四	七、七〇三	八、〇七六	[illegible]	[illegible]	[illegible]
香川	二二二	五八八	八一〇	六一八	一二、三〇七	一二、九二六	一三、七三六	[illegible]	[illegible]	[illegible]
愛媛	一〇六	四七七	五八三	三六三	一八、二八四	一八、六四七	一九、二三〇	五一三、八〇〇	三、七四	[illegible]
高知	四四	二一一	二五五	二八九	五、四一九	五、七〇八	五、九六三	[illegible]	一、八四	[illegible]
福岡	四八一	二、二〇四	二、六八五	一、〇二五	三〇、七八一	三一、八〇六	三四、四九一	八〇一、八〇〇	四、三〇	[illegible]
大分	一三一	七三二	八六三	三三九	一〇、六一八	一〇、九五七	一一、八二〇	四二九、九〇〇	二、七五	[illegible]
佐賀	一四四	七一五	八五九	二一五	八、六一三	八、八二八	九、六八七	三三五、一〇〇	二、八九	[illegible]
熊本	二九七	二、五七一	二、八六八	四四〇	一八、三四三	一八、七八三	二一、六五一	六一八、九〇〇	三、五〇	[illegible]
宮崎	九六	三八二	四七八	二九五	八、三五四	八、六四九	九、一二七	二五八、九〇〇	三、五三	[illegible]
鹿兒島	一七七	一、〇三五	一、二一二	二五四	九、〇四七	九、三〇一	一〇、五一三	六二〇、三〇〇	一、七〇	八
沖縄	●八〇	二七六	三五六	一四二	一、九一〇	二、〇五二	二、四〇八	二四三、九〇〇	〇、九九	八
函館	一三〇	三三〇	四六〇	二三九	一、一一〇	一、三四九	一、八〇九	四四、七七〇	四、〇四	五七
朝鮮	五六七	一、七六四	二、三三一	三二五	四、五二三	四、八四八	七、一七九	―	―	二八二
海外	八六六	八四	九五〇	四〇六	一一九	五二五	一、四七五	―	―	一〇二
計	一八、三七七	五一、七〇九	七〇、〇八六	五〇、五七五	六七九、五一三	七三〇、〇八八	八〇〇、一七四	二五、七二二、二八七	三、一一	二、七四一

備考 ●印ハ當月々報未着ニ付前月分ヲ計上セリ

功績に依り一等有功章並に特別徽章贈與

本部評議員 子爵夫人 寺内瀧子
朝鮮本部副長 石塚忍子
同 同 大屋敦子

功績に依り二等有功章贈與(七月廿五日)

函館支部 今井こま子
同 渡邊かつ子

金五十圓寄附に依り三等有功章贈與(七月廿八日)

青森支部 廣谷ふく子
同 鈴木たけ子
同 佐藤つな子
同 森いち子

金五十圓寄附に依り三等有功章贈與(七月廿九日)

三重支部幹事 鈴原こと子

功績に依り三等有功章贈與(七月三十一日)

函館支部 富安光

金五十圓寄附に依り三等有功章贈與(八月一日)

大坪進 森田榮 小酒孝盛 萩原正博 河合盛經

●教養所記事

▲暑中見舞 教養所生徒は職員に引率され去月二十五日及同二十七日の兩日に阿部會長、岡部前會長、濱尾副會長並に馬屋原事務總長へ暑中見舞の爲め參邸したり。

▲阿部會長及本部よりの贈品 阿部會長には去る一日歸省の教養生四十四名に對し、手拭一本、半紙一帖、鉛筆一本、手帖一冊、葉書三葉、清心丹一袋及菓子一袋の七品入りの木綿袋一個宛を贈與され、又殘存者一同に對して菓子若干を贈與されたり。又本部よりは教養生一同に對し總會記念品扇子一本及同財袋一個宛を贈與したり。

▲陸軍中央幼年學校入學 本年度陸軍中央幼年學校生徒募集に對し教養生中十九名該試驗に應じたるが、左記五名は比較的良好の成績を以て合格し來る九月一日より入學する事となりたり。

福岡支部選出 大坪進
群馬支部同 萩原正博
石川支部同 小酒孝盛
鹿兒島支部同 森田榮
愛媛支部同 河合盛經

因に本年度陸軍中央幼年學校入學者五十名中大坪は第一席、萩原は第二十九席、小酒は第三十席、森田は第三十九席、河合は第四十席にて合格したり。

地方記事

山口支部

▲幹事區會員總會 山口支部玖珂郡幹事部は醵金未納整理及會員募集の爲め左記の如く受持幹事區會員總會を開催せり、今其の總會の概況を擧ぐれば會場の入口には國旗を交叉し式場には 總裁殿下の御尊影を掲げ奉り受持幹事開會を宣告し續て事務の報告幹事部長の告辭は顧問之を代讀し山根主事の祝詞受持幹事答辭等靜肅に擧式を終りたる後會員一同に茶菓を饗し座中當部より携帶したる軍人遺族及癈兵の寫眞帖を一同に觀覽せしめたる上山根主事は該帖に就き軍人遺族の生計に對する救護方法及癈兵生業扶助を授けし實況等を具さに演述し以て本會の行動及趣旨等を懇切に會得せしむ、尚總會當夜幻燈會を開く藤富幹事部顧問は開會を宣し山根主事は本會の趣旨及本部並山口支部に於て今日迄實施し來りたる救護事業等に就き諄々口演を試み以て會員の自重と義務の觀念とを感起せしめ即時軍人遺族並癈兵等就業狀態の映畫を逐一説明して觀覽せしめたるに多大の感動を與へたり、因に觀覽者は毎幹事區に於て少きは五百餘人多きは一千二三百人にして閉會は毎夜十二時前後なりき。

總會開設日	在來會員數	新募會員數	計	女子人口歩合	未納醵集金	幹事區村名
七月五日	八一	一〇	九一	五、四四	六二、〇〇〇	鳴門村
同 六日	六八	六	七四	四、〇一	二九、〇〇〇	神代村
同 七日	一八七	一二	一九九	七、一八	一二二、二五〇	由宇村
同 八日	一四五	一二	一五七	六、六八	一八〇、四〇〇	川下村
計	四八一	四〇	五二一	五、八一	三九三、六五〇	

備考 鳴門村神代村の二幹事區に在ては總會開設の爲め本年度迄の會費完納を了せり。

北海道支部

▲委員部總會 去る六月二十三日北海道

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支部根室幹事部内泊委員部に於て會員第二回總會を開く其の狀況左の如し。

一、會場　根室國々後郡東沸村瀬石小學校
一、六月二十三日午前十時號鐘にて一同着席
一、奏樂(君が代)
一、戊申詔書　總裁殿下令旨捧讀
一、北海道支部長及根室幹事部長祝電朗讀
一、委員本會の事業に關し講演
一、規約講了
一、參列者祝辭
一、式終了

式後泊村戸長鈴木幹雄氏は敬老の美風を助長せしむる爲め村内七十歳以上の者五名に對し賀狀及目錄を贈與し又篤志者加賀谷祐太郎氏は右五名に白扇並にハンカチーフを贈與せり本會は赤十字社分區總會と併合したるを以て參列者は本會々員赤十字社員を通じて三十五名小學校生徒百二十餘名にして一同に赤飯を饗し午後五時散會したり。

青森支部

▲支部移轉　青森支部事務所は八月二日より青森市警察署内より新築落成の赤十字社青森支部内へ移轉したり。

長野支部

●明治四十三年度事業報告

▲本期間は種々なる事情ありしも大なる影響をも被らず漸次發達の機運に向ひつつあるは本會の爲め欣ふ所なり而して本期間に於ける事業の概況を示せば左の如し。

▲軍人遺族並に癈兵救護　本年度は縣下未曾有の洪水の爲め其災害に罹れる者に臨時救護金を支出せり即ち更植二郡外七郡にして遺族戸數六十一戸癈兵戸數十七戸合計七十八戸にして此金三百九拾一圓郡平均支出四拾三圓なりとす尙臺灣討蕃隊に屬し戰歿せし遺族に對し臨時救護せしもの一人此金五圓依て四十三年度臨時救護金支出は合計參百九拾五圓なりとす次に本年度定期救護金支出は別表に示すが如く二市十六郡にして其遺族戸數九百參拾六戸癈兵戸數四十二戸合計九百七十八戸此金貳千七百四拾壹圓而して最多額支出は參百貳拾六圓五拾錢最少數支出は五十七圓平均一郡百五拾貳圓貳拾貳錢貳厘なり故に本年度救護金支出は合計參千百參拾六圓なりとす。

▲會員募集並に幹事部總會　會員募集に關しては極力計畫を遂行し客年十月十四日諏訪郡幹事部第一回會員總會を同郡上諏訪町高島公園内に擧行し本會よりは理事三輪田眞佐子女史隨員桂事務員支部よりは飯塚副長堀田評議員岩下主事臨場し最も盛大に行はれたり而して此際有功章及謝狀授與せられたるものは別記の如し尙本總會のため增募會員數千六十七人にして之を類別すれば特別終身會員拾九人通常終身會員參拾九人特別會員百貳拾人通常會員八百八十九人となる次に本年度内に於ける會員異動數は增加數千五百九十一人減少數四百五十八人差引壹千百參拾參人の增加にして其詳細は別表の如し尙會員現在數は別表郡市別會員表に示すが如く壹萬八千九百貳拾九人最多數を占むるは諏訪郡にして女子人口百人比例六人二分下伊那郡最少數にして一人六分七厘支部平均は三人六分にして全國中其第十七位を占むるに至れり。

▲年醵金　年醵金收入の狀態は縣下未曾有の水害と累年の不況にも不係別表に示すが如く四十二年度收入高壹萬七百四拾圓參拾五錢に對し壹萬參千九百參拾九圓五錢にして差引參千九拾八圓七拾錢の增收となり然れども之を精細に調査するときは諏訪郡幹事部第一回總會により新入者會費貳千九拾貳圓の特殊なる收入ありしがためにして假りに之れを收入外と見做せば僅に千拾六圓七拾錢の增收に過ぎず依て本年度間は多少の影響を被りし事明瞭にして之亦止むを得ざる事なりとす。

▲支部事務所並に授產所新築　支部事務所並に授產場は明治四十二年九月より起工し本年十二月二十日を以て落成せり今其概況を左に略記すべし家屋平家造にして屋根はトタン板を以て之を葺き南面に玄關をかまへ北面は一間巾の板敷廊下となし之を閉づるに二重の硝子戸を以てす玄關より入りて左方の一室四間四方のものは之を事務室となし右方直に貳間四方の一室は應接室となす其奧に疊敷の一室あり之を宿直室となす更に應接室より左曲して二室あり支部長室となす之を出でゝ廊下を右に進めば大廣間あり之を分つて二室となし硝子戸を以て之を仕切り一は會議室にして他を授產室となす壁は一面白壁にして柱より戸障子は總て之を彩るに淡桃色のペンキを以てす更に事務室より出でゝ左折すれば別に和風の一棟あり之物置並に小使室となす今之を坪數を以て示せば左の如し。

本館坪數　百三十三坪二合二勺
附屬建物坪數　三十坪
合計　百六十三坪二合二勺

敷地長さ三拾間巾貳拾間而して東西に長し總坪數六百坪あり之を圍らすに外柵を以てす
建築費總額九千四百五拾壹圓廿五錢五厘也
右は長野市及十七幹事部に於ける有志の寄附金並に本會借入金を以て之を充てぬ。

▲其他雜件　其他本會主催に係る五ヶ年繼續臺灣討蕃隊に對する第一回慰問袋料金募集に應じ取扱ひたる袋數は千四百四十一個にして此料金參百六十貳圓五拾錢尙明治四十二年より引續き高田衛戍病院娛樂室備付雜誌募集に對する送付册數八百五拾餘なり尙本會事業の一たる敎養生募集に關しては前年來より頻りに募集選拔中の處松本市字宮淵故陸軍近衛步兵一等卒勳八等赤堀加壽次遺兒赤堀早苗拔擢せられ昨年三月廿八日入場し現に勉學中

附記

▲本年度中取扱ひたる諸件數は大小合計參拾五なり　●別表略

佐賀支部

●明治四十三年度事務成績

▲佩有功章者　本年末現在四十九人にして内一等女一人二等男三人女二人三等男九人女三十四人なり而して本年中授與せられたる者なし。

▲會員　本年中入會者特別二人通常三十六人他支部より轉入者特別七人通常二十九人合計七十四人、又他支部へ轉出者特別十二人通常三十一人死亡者特別二十四人通常八十四人退會者特別七人通常七十九人合計二百三十七人にして本年末現在會員數は特別八百七十一人通常八千八百八十一人計九千七百五十二人之を前年末現在數に比し百六十三人を減じたり。

▲會費　本年中會費の醵集額は金三千三百六十八圓八十錢にして之を細別すれば特別會員より七百三十五圓五十錢通常會員より二千六百三十三圓三十錢なりとす

▲支部基本金　本年中の收入額寄附金五圓會費步合金三百三十六圓八十八錢債券償還差益金五十圓計金三百九十一圓八十八錢之に前年より越高金三千四百五十五圓四十九錢五厘を加へ現在金三千八百四十七圓三十七錢五厘を翌年度へ繰越したり。

▲救護金　本年中の收入額は會費步合金六百七十三圓七十六錢本部より收入金九百六圓之に前年より越高金一千三百二十一圓六十八錢を加へ合計金二千九百一圓四十四錢の内金一千五百二十九圓を救護戸數二百三十五戸に分與す(内譯金十一圓づゝ十五戸、金九圓宛四十戸、金七圓宛五十二戸、金五圓宛百二十八戸)外に金九十一圓九十二錢敎養所生志願者身體檢查費及入所生並附添人上京旅費に支出し差引殘金一千二百八十圓五十二錢を翌年度に繰越したり。

▲支部經費　本年中の受入總高金一千三百五十三圓六十四錢五厘支出總高金一千二百七十八圓四十二錢にして差引殘金七十五圓二十二錢五厘を翌年度に繰越したり。

▲規則制定　本年八月中支部細則中の一部を改正し幹事部又は町村委員部に收入委員を置き年醵金收集に從事せしめ又年醵金收集規程を設定發布して收集したる年醵金は郵便振替貯金に據り支部へ送納せしむる事に改めたり。

▲軍人遺族接待　本年五月六日官祭招魂社に於て招魂祭執行に當り參拜遺族接待所を設け晝飯湯茶等を饗し蓄音器を演奏し支部長以下職員一同出張斡旋慰安に努めたり。

▲軍隊其他送迎　本年四月二十四日佐賀步兵第五十五聯隊第九中隊韓國臨時守備隊より歸還に付き佐賀停車場に歡迎をなし又同日は大村聯隊の一部をも同上歸還通過に付き佐賀停車場に歡送迎をなし六月三日特命檢閱使來佐に付き送迎をなし同月十七日岡部司法大臣來佐に付き送迎をなしたり。

▲慰問袋募集　本年三月中熊本支部の主催に依り韓國守備隊へ寄贈慰問袋を募集し其應募數八百二十七ヶ又八月中本部の主催に依り臺灣征蕃隊慰問袋(料金)を募集し其應募數三百五十一個を得たり。

▲敎養所生入所　本年當支部より敎養所生志願者三名の内二名採用せられ三月三十一日上京入所せしめたり。(つゞく)

愛國婦人第二百三十一號附錄　發行兼印刷人 山澤俊夫　編輯人 竹内貞三　發行所 東京麹町區飯田町 愛國婦人發行所　印刷所 東京市小石川區久堅町 博文館印刷所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN